

DSK 機能付きタイムロゴジェネレーター

TLG-70SB
TIME LOGO GENERATOR
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。
- ・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にかませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音が出た場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシナールームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐご連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシナールーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかると危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行うと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
 - ・質量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
 - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
 - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
 - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
 - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。
 - ・長時間運転による発熱にご注意ください。手などの皮膚が長時間にわたり本体へ触れていますと、低温やけどを起こす可能性があります。
 - ・正面パネルなどを開閉する作業が必要な場合は、作業後に必ず元の通りに閉じてください。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、本製品を取扱う際は

- ・直射日光、水濡れ、湿気、ほこりなどを避けて使用してください。
- ・身体の静電気を取り除いてから作業を行ってください。

2、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

3、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

4、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- ・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
- マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
 - ・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
- 通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- ・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
 - ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
 - ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。

安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。

期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先……ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30～17:00

E-Mail cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 ** 090-3230-3507

受付時間 9:00～17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承ください。

フォントの使用についてのお願い

フォントの使用については、フォントメーカーと使用契約を結んでください。

本製品でお使いになるフォントや本製品に映像信号として入力するフォントに関しては、フォントメーカーと使用契約を結んだフォントをご使用願います。フォントおよび本製品で編集あるいは制作された制作物の著作権に関し、当社は一切の責任を負いません。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために	I
フォントの使用についてのお願い	IV
1. 概 説	1
《特 長》	1
2. 機能チェック	2
1. 構 成	2
2. 筐体への取り付け	2
3. POWER ON までの手順	2
4. 機能チェック接続	3
5. 機 能	4
3. 各部の名称と働き	9
TLG-70SB	9
4. モジュール前面パネルによる操作方法	11
1. 基本操作	11
2. メニューツリー	12
3. 各機能説明	16
5. ブラウザによる操作方法	19
1. 各種設定メニューの起動	19
2. 画面設定	20
3. タイム設定	22
4. デイト設定	25
5. ロゴ登録	28
6. 表示コントロール	30
7. 内部時計設定	31
8. フォント登録	33
9. 環境設定	35
10. 送出設定	37
11. メンテナンス	39
12. REMOTE 設定	41
6. ディップスイッチの機能について	43
7. 外部インターフェース	45
8. 表示タイミング	47
1. エフェクト表示タイミング	47
2. 外部信号と表示タイミング	47
3. ROTATE エフェクトのコントロールについて	49
9. 保守	50

1. モジュール交換.....	50
2. プログラムのバージョンアップ方法.....	50
10. トラブルシューティング.....	51
11. 注意事項.....	53
12. 仕 様.....	54
1. 定 格.....	54
2. 性 能.....	54
3. 機 能.....	55
13. ブロック図.....	56
14. SNMP.....	57
15. GENLOCK PHASE.....	59

1. 概 説

TLG-70SB は HD-SDI に対応した時刻・ロゴイメージ発生装置です。LTC 信号からタイムスーパーを発生し、本線映像信号にスーパーします。時・分変わりに時刻表示のエフェクトができ、ロゴイメージ(以降、ロゴとします)との重ね合わせもできます。

文字の大きさ・位置・色などの設定はパソコンからブラウザで操作し、16 種類の時刻(以降、タイムとします)、日付(以降、デイトとします)を登録できます。また、ロゴは 16 パターンまで保存できます。タイムのみ、デイトのみ、ロゴのみ、またはタイム、デイト、ロゴを組み合わせて送出画面(32 面)をデザインします。

タイム、デイトの文字の大きさ・位置・色などの設定はブラウザだけでなく、モジュールの前面パネルからメニューで設定することもできます。

送出は曜日・時間帯別に送出画面をプログラムする自動送出、または外部接点で送出できます。

《特 長》

- 本線映像信号(1080i/59.94)にタイムスーパーをスーパーインポーズ可能
- 時・分変わりにエフェクト可能
- 時・分変わりにFADE、ROTATE(縦横)、CUTのエフェクト可能
- 送出画面は32面あり、WEBブラウザから設定および切り替え制御可能
- ロゴは最大512×512ドットで16パターンまでメモリ可能
- タイムとロゴが表示でき、重ね合わせが可能
- タイムは時分(CUTのみ時分秒が表示可)、デイトは年月日・曜日表示可能
- LTCの時刻データを入力してタイムスーパーを表示可能
- LTC断及び未入力の場合は、内部時計で駆動
- 曜日、時間帯別に送出画面をプログラムできる自動送出機能搭載
- 筐体のLANを接続することによってブラウザから各プリセットの設定やロゴ、フォントのアップロード、送出画面の切り替え、自動送出設定が可能※1

※1 インターネットブラウザでの設定には、Vbus-70C の WebServer が必要です。付属の設定アプリケーションをご利用ください

2. 機能チェック

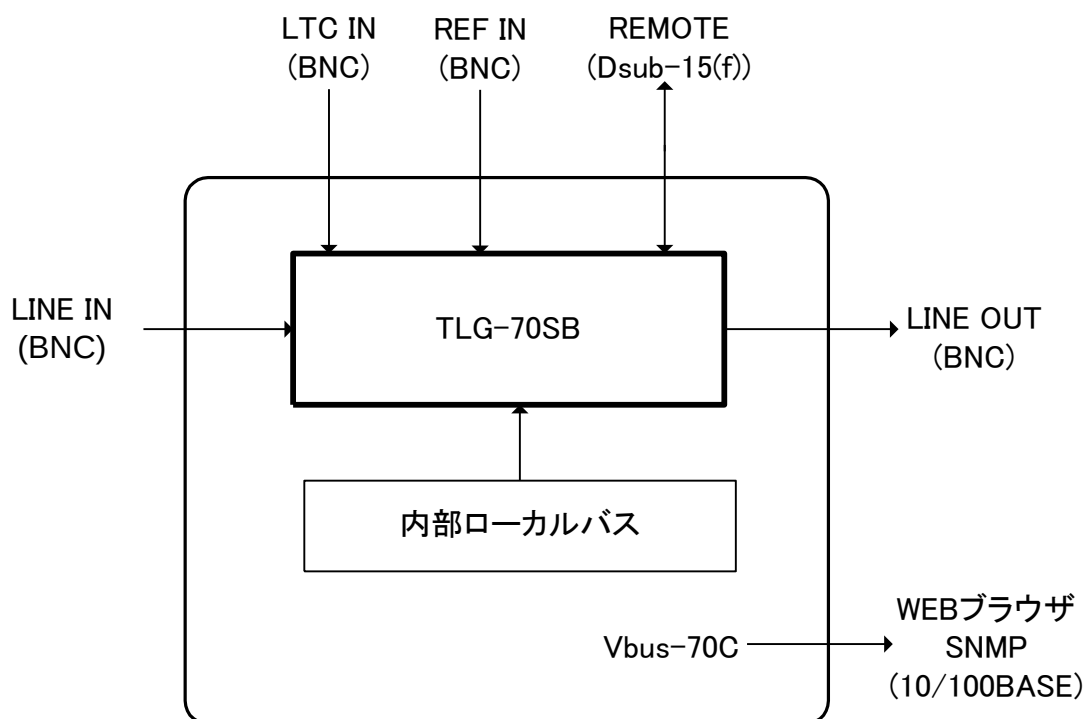
1. 構成

本体

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	メインモジュール	TLG-70SB	1	
2	コネクタモジュール	TLG-70SB	1	
3	取扱説明書		1	本書
4	アプリケーション CD	TLG-70SB 設定 アプリケーション	1	取扱説明書 (PDF 版)

TLG-70SB設定アプリケーション取扱説明書はアプリケーションCDのDocumentフォルダ内にPDFファイルで格納されています

表2-1 構成



※太枠はVbus-70Cシリーズ筐体
に実装されるモジュールを示します。

図2-1構成図

2. 筐体への取り付け

ご使用の際には、メインモジュール及びコネクタモジュールを筐体に取り付けてください。筐体はVbus-70Cシリーズのいずれにも対応します。実装方法については「Vbus-70Cシリーズ取扱説明書」を参照してください。

3. POWER ON までの手順

- (1) Vbus-70C 筐体(以降、本体とします)の電源プラグを AC100V のコンセントに挿入します。
- (2) 本線映像信号(1080i/59.94)を TLG-70SB の LINE IN に入力します。
- (3) LINE OUT をモニターに接続します。
- (4) REF IN に BBS もしくは 3 値 SYNC を入力します。※入力しないと設定にかかわらず LINE DIRECT になります。
- (5) LTC IN に LTC 信号(SMPTE12M-1 準拠、バイナリグループフォーマット SMPTE309M 準拠 YYYYMMDD format/MJD format)を入力します。※バイナリグループフォーマットが準拠しない場合は DIP SW2-6 を”ON”にしてください。
- (6) 本体の電源スイッチを投入します。パワーランプが点灯します。

4. 機能チェック接続

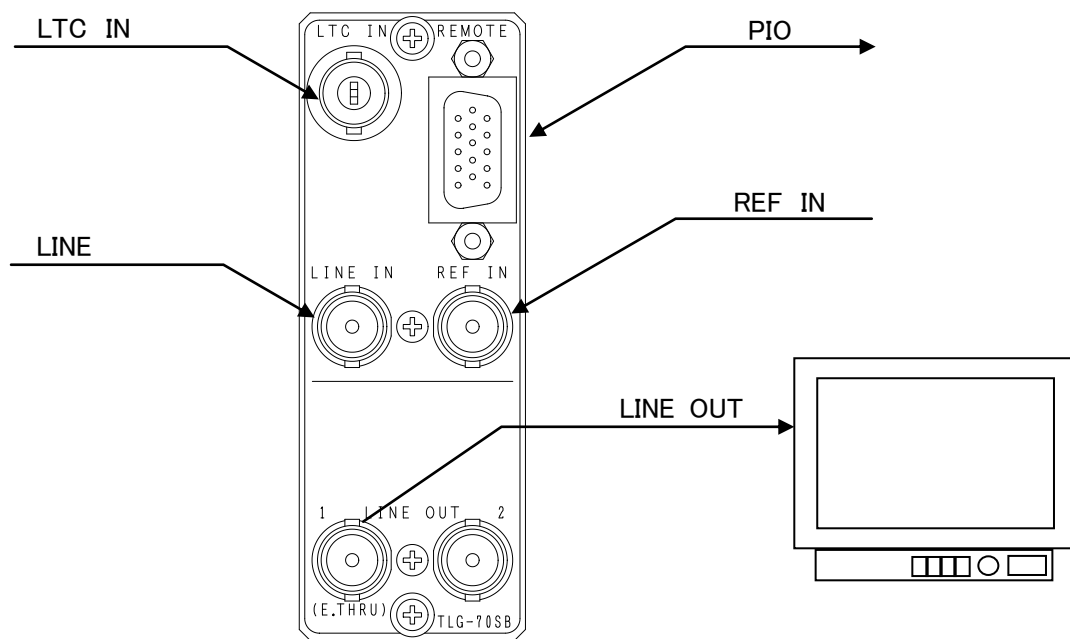


図 2-2 機能チェック接続図

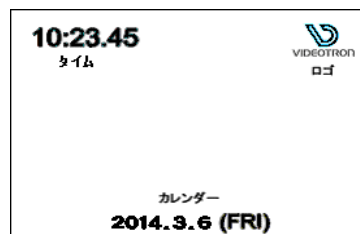
5. 機能

文字の大きさや色や縁取りなどを登録できるタイム(時分秒)とデイト(年月日曜日)が各 16 パターンあり、さらに 512 × 512 サイズのロゴが 16 パターンあります。

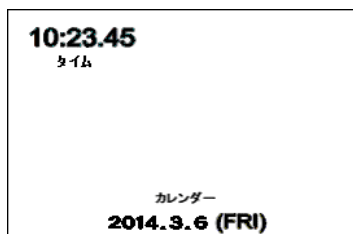
また、これらのタイム、デイト、ロゴを自由に組み合わせて構成する送出画面が 32 パターンあります。

送出方法は外部接点と、あらかじめ時間帯と送出画面をイベント登録する自動送出があります。

タイムデイトロゴ送出



タイムデイト送出



ロゴ送出



(1) タイム

タイムは 16 パターン登録できます。

設定できる内容は以下の項目です。

表示フォーマット	hh:MM:SS／hh:MM／hh:MM.SS／hh.MM.SS hh.MM／hh MM SS／hh MM／hh 時 MM 分 SS 秒 hh 時 MM 分／hh 時 mm 分 エフェクト CUT 時のみ秒を表示可
12H/24H 切り替え	可
エフェクト	CUT、FADE、ROTATE(縦横)

※アルファベットの小文字で表記されている表示フォーマットは、先頭の0は表示されず、スペースが入ります。

例:hh時mm分 04時05分→ 4時 5分

例:hh時MM分 04時05分→ 4時05分

エフェクトがFADE、またはROTATEの場合、秒数は表示されません。

エフェクトのROTATEは、1～4パターンにのみ登録できます。

ROTATEは文字サイズ40級で約10秒間の仕込み(レンダリング)時間がかかります。

級数が大きくなるとさらに時間がかかります。

文字関係

フォント	4 書体
文字サイズ	10 級～100 級
長体	0～50% (0%で長体なし、横方向が縮む)
斜体	0～30% (上部が下部より右にずれる)
文字間隔	-50～50ドット (ーは左に詰まる)
区切り間隔	-50～50ドット (ーは左に詰まる)
着色 Y 輝度	0～110%
S 彩度	0～100%
H 色相	0～359°
キーレベル	0～100%(0%で透過)

※フォントの著作権はお客様で契約をお願いします。

縁取り関係

着色	Y 輝度	0～110%
	S 彩度	0～100%
	H 色相	0～359°
幅		0～10 ドット
種類		HARD、SOFT

(2) デイト

デイトは 16 パターン登録できます。

設定できる内容は以下の項目です。(注: 表示フォーマットの WWW は英語表記、WW は漢字表記です。)

表示フォーマット	YYYY年mm月dd日／mm月dd日(WWW)／mm月dd日(WW) YYYY年mm月dd日(WWW)／YYYY年mm月dd日(WW)／mm月dd日 mm.dd／yyyy.mm.dd／yyyy.mm.dd(WWW) YY.mm.dd／YY.mm.dd(WWW) dd(WWW)／dd(WW)
----------	---

※アルファベットの小文字で表記されているフォーマットは、先頭の0は表示されず、スペースが入ります。

例: YY.mm.dd 10.01.01→10. 1. 1

例: YYYY年mm月dd日(WW) 2010年01月01日(金)→2010年 1月 1日(金)

文字関係

フォント	4 書体	
文字サイズ	10 級～100 級	
長体	0～50%（0%で長体なし、横方向が縮む）	
斜体	0～30%（上部が下部より右にずれる）	
文字間隔	-50～50ドット（ーは左に詰まる）	
区切り間隔	-50～50ドット（ーは左に詰まる）	
着色	Y 輝度	0～110%
	S 彩度	0～100%
	H 色相	0～359°
キーレベル	0～100%（0%で透過）	

※フォントの著作権はお客様で契約をお願いします。

縁取り関係

着色	Y 輝度	0～110%
	S 彩度	0～100%
	H 色相	0～359°
幅		0～10 ドット
種類		HARD、SOFT

(3) ロゴファイル

ロゴファイルは 16 枚登録できます。

ロゴサイズ	最高 512 ドット× 512 ライン
フォーマット	32 ビット(RGB α) 非圧縮 TIFF
キーレベル	0～100%(0%で透過)

(4)送出画面

送出画面は 32 面あり、タイム、デイト、ロゴを各 16 パターンから自由に組み合わせて送出画面を構成します。

タイム関係

タイム	ON/OFF
タイム NO.	1～16
表示位置	H:0～1919 V:0～1079

デイト関係

デイト	ON/OFF
デイト NO.	1～16
表示位置	H:0～1919 V:0～1079

ロゴ関係

ロゴ	ON/OFF
ロゴ NO.	1～16
表示位置	H:0～1919 V:0～1079

**ロゴが表示範囲を超えた場合、左または上から折り返して表示されることがあります。

(5)環境設定

表示に関する設定を行います。

- ・時刻オフセット 時刻の表示を指定したフレーム数だけずらします(+30 で 1 秒遅れた時刻を表示)。
- ・エフェクトオフセット 時刻の切り替えを FADE、ROTATE で行う際に最大1秒まで遅らせます。
- ・TEST モード 時刻が 6 倍速で動作します。自動送出やエフェクトの動作チェックに使用します。
エフェクトが ROTATE でフォントの大きさが 100 級など大きな値の場合、レンダリングに時間がかかる為、正常に動作しない場合があります。

表示領域	1920×1080
時刻オフセット	±180 フレーム(±6 秒) (フレーム単位)
エフェクトオフセット	0～30 フレーム(最大 1 秒) (フレーム単位)
TEST モード	ON/OFF

(6) 自動送出

表示開始時刻になると登録された送出画面を送出します。

LTC 信号に合わせて自動送出します。

・曜日	月～金曜日、土曜日、日曜日
・イベント数	8 イベント(曜日ごと)
・表示開始時刻	00:00:00～23:59:59(時・分・秒)
・表示終了時刻	00:00:00～23:59:59(時・分・秒)
・登録送出画面	1～32

(7) 外部接点制御

4 入力ピンをタイム、デイト、ロゴと画面番号から自由にアサインできます。

・強制表示 ON/OFF	タイム、デイトとロゴを各々ON/OFF
・画面切り替え	画面番号 1～32

(8) 外部タリ-

4 出力ピンをタイム、デイト、ロゴと画面番号から自由にアサインできます。

・表示 ON/OFF タリ-	タイム、デイトとロゴのタリ-
・画面番号タリ-	画面番号 1～32

(9) ブラウザ機能

・送出画面のプリセット	送出画面に登録する各プリセット番号、表示位置、表示 ON/OFF の設定
・タイム情報のプリセット	タイムの大きさ、色、表示間隔、エッジなどの設定
・デイト情報のプリセット	デイトの大きさ、色、表示間隔、エッジなどの設定
・ロゴ情報のプリセット	登録しているロゴ名の確認、アップロード、登録の削除
・フォントの登録	フォントの登録、確認、削除
・環境設定	現在の映像フォーマットの確認、表示に関する設定
・自動送出設定	表示を行う時刻の設定
・内部時計設定	TLG-70SB の時刻設定
・メンテナンス	バージョン確認、設定データの保存、設定データの復元、表示コントロール

注: Internet Explorer8 を使用時、一部表示が正しくない場合は、互換表示を ON で使用してください。

ブラウザのツールタブから互換表示を選択してください。

(10) SNMP 機能

・各種の設定状態を SNMP モジュールへ返します。

(11)制限事項

- ・エフェクト時間は 1 秒間です。
- ・ROTATE エフェクトを登録できるパターンは、1～4 パターンだけとなります。
- ・エフェクト途中で画面が切り替わる場合、カットで切り替わります。
- ・分の切り替わりのエフェクト動作中に時計強制 ON/OFF 信号が入力された場合、エフェクト動作は続行します。
- ・時計表示 OFF の状態からエフェクト動作中に強制 ON された場合、エフェクト動作の途中から表示します。
- ・秒表示のある画面に切り替えたとき、最初の 1 秒は正しく表示しないことがあります。
- ・ブラウザでタイムやデイト等の設定を行う場合、時刻表示の分の切り替わりが正しくエフェクトしないことがあります。
- ・スーパーが ON の状態で、ブラウザからのロゴファイルの転送やフォントの設定変更を行わないで下さい。運 針が止まったり表示が乱れたりすることがあります。

3. 各部の名称と働き

TLG-70SB

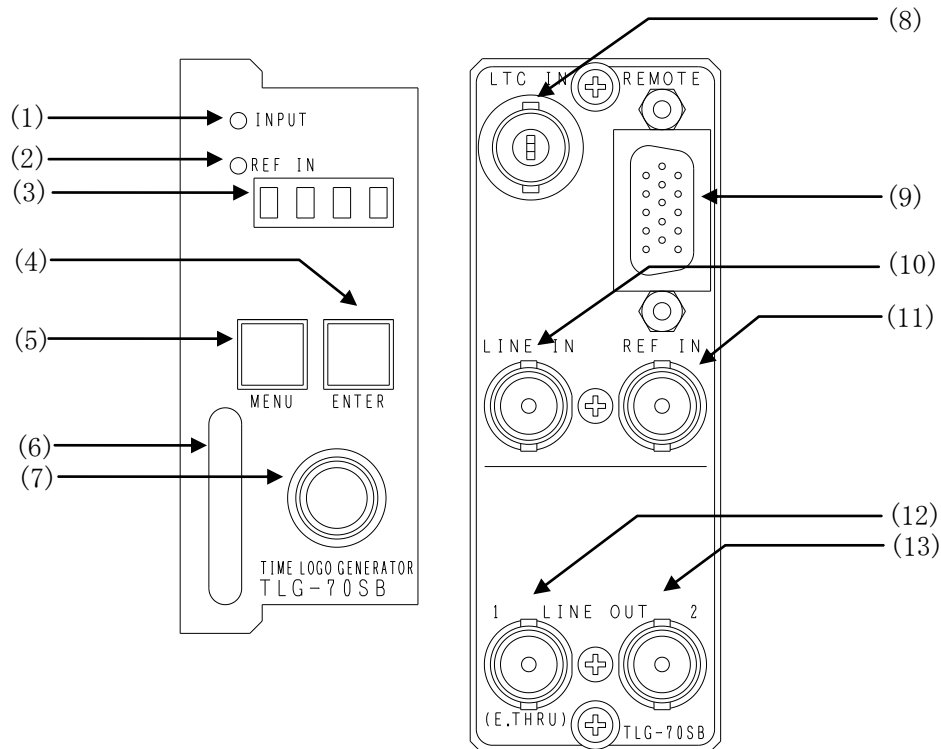


図3-1 各部の名称と働き

(1)INPUTランプ

本線映像信号が入力されていると緑色に点灯します。入力がないときは、消灯します。

(2)REF INランプ

ランプの状態は下のようになります。

ランプの状態	リファレンス選択モード (REF SEL)	内 容
緑点灯	EXT DIRECT	REF IN信号が入力されていて、それをリファレンス信号としてロックしている
	EXT SUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信しロックしている
橙点灯	EXT DIRECT	REF IN信号が入力されていて、それをリファレンス信号としているがロックしていない
	EXTSUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信しているが、ロックしていない
橙点滅	EXT DIRECT	REF IN信号が入力されていない
	EXTSUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信していない

(3)表示器

ソフトバージョンやメニュー表示をします。

(4)ENTERボタン

メニューモード時の各種設定用のボタンです。メニューモード中、各種設定を決定します。

(5)MENUボタン

メニュー用のボタンです。1秒以上押し続けるとメニューモードに入ります。

(6)取手

筐体への取り付け、取り外しなどを行う場合はこの部分を持ちます。

(7)選択ツマミ

メニューモード中、各種設定を選択します。

(8) LTC

タイムコード信号の入力端子です。

(9)REMOTE

外部制御用コネクタです。

(10)LINE IN

HD-SDI信号を入力します。

(11)REF IN

BBS信号または3値SYNC信号を入力します。

(12)LINE OUT1

HD-SDI信号を出力します。

バイパス機能付で電源OFF時はLINE INからLINE OUT1へバイパスします。

LINE INに入力信号がないと黒画面になります。

(13)LINE OUT2

HD-SDI信号を出力します。

LINE INに入力信号がないと黒画面になります。

4. モジュール前面パネルによる操作方法

1. 基本操作

- 1) 電源投入直後、タイムのプリセットパターン16個とデイトのプリセットパターン16個のフォントをBMPデータにしてワークメモリに作成します。その後、ロゴのプリセットパターン16個をロゴプレーンへ転送します。
フォント作成中は、モジュール前面の表示器にプリセット番号と文字番号を表示します。ロゴの転送中は、モジュール前面の表示器にプリセット番号を表示します。転送完了までは全ての操作ができません。
 - 2) ロゴの転送完了後、表示器に機種名「TLG-70SB」とバージョン番号が繰り返し表示されます。
 - 3) モジュール前面のMENUボタンを1秒以上押し続けると、表示器がメニューモードになります(メニューツリー参照)。メニューモードになるとタイムは、リアルタイムで表示状態を確認できるようにCUTエフェクトになります。
表示はCUT動作ですが、エフェクトの設定はできません。
 - 4) モジュール前面のツマミを廻し、設定する項目を選択します。
 - 5) ENTERボタンを押すと設定項目の階層に入り、ツマミを廻して目的の設定を選択します。
メニューツリーでは、右の項目に移動します。
 - 6) 設定を決定(保存)する場合はENTERボタンを押します。また、変更をキャンセルする場合は、MENUボタンを押すことにより設定値は変更前の値に戻ります。
文字生成に関する以下のメニューは、ENTERボタンを押すことで生成を開始します。
タイム: 【TFON】【TSIZ】【TYOU】【TSLN】【TEDG】【TEWD】
デイト: 【DFON】【DSIZ】【DYOU】【DSLN】【DEDG】【DEWD】
文字サイズにもよりますが、文字生成に標準フォント40級で約10秒かかります。終了して1秒後に画面に表示します。
 - 7) さらに他項目の設定を行う場合は4)~6)を繰り返し行います。
 - 8) メニューモードを終了する場合は1番上の階層(【SCRN】【TIME】【DATE】【CONF】【CLOK】【VER】)でMENUボタンを押すと2)の状態に戻ります。
タイムのエフェクトは、メニューモードに入る前のエフェクトになります。
 - 9) メニューモードの状態でも10分間未操作状態が続くと、設定をキャンセルし、2)の状態に戻ります。
- メニューモードでの【TIME】【DATE】の設定は、【SCRN】で設定した画面番号のタイム、デイトのプリセット番号が変更対象となり画面に表示されます。別のプリセット番号を変更したい場合、【SCRN】のタイム、デイトのプリセット番号を変えてから【TIME】【DATE】の各項目を変更してください。
- 同じプリセット番号を別の画面番号で使っていた場合、その画面番号の表示も変更されますので注意してください。

2. メニューツリー

MENU

SCREEN	【SCRN】	表示画面のレイアウトを設定します。
SCREEN NO	【SCNO】	画面番号の選択です。
	【 1 】	1～32
SCREEN TIME	【\$TIME】	タイムのレイアウト設定です。
PRESET NO	【PRNO】	プリセット番号の設定です。
	【 1 】	1～16
DISPLAY	【 DISP】	表示有効か無効かを設定します。
	【 OFF】	ONで有効、OFFで無効です。
POSITION	【 POSI】	表示位置を設定します。
H POSITION	【 H 】	水平方向表示位置設定です。
	【 50 】	1～1920の範囲で設定します。
V POSITION	【 V 】	垂直方向表示位置設定です。
	【 50 】	1～1080の範囲で設定します。
SCREEN DATE	【SDAT】	デイトのレイアウト設定です。
		下層の設定はSCREEN TIMEと同じです
SCREEN LOGO	【SLOG】	ロゴのレイアウト設定です。
		下層の設定はSCREEN TIMEと同じです
TIME	【TIME】	タイムの設定です。
TIME FONT	【TFON】	書体の設定です。
	【FON1】	FON1～4で設定します。
TIME SIZE	【TSIZ】	サイズの設定です。
	【 60 】	10～100級
TIME TYOU	【TTYO】	長体率の設定です。
	【 0 】	0～50%
TIME SLANT	【TSLN】	斜体率の設定です。
	【 0 】	0～30%
TIME SPACE	【TSPC】	文字間隔の設定です。
	【 -20 】	-50～50ドット
TIME DELIMITER	【TDLM】	区切り間隔の設定です。
	【 -10 】	-50～50ドット
TIME COLOR	【TCOL】	文字の色設定です。
LUMINANCE	【LUMI】	輝度設定です。
	【 100 】	0～110%の範囲で設定します。
HUE	【 HUE】	色相設定です。
	【 0 】	0～359° の範囲で設定します。
SATURATION	【 SAT】	彩度設定です。
	【 0 】	0～100%の範囲で設定します。
TIME EDGE	【TEDG】	エッジの設定です。
	【HARD】	エッジをHARDにします。
	【SOFT】	エッジをSOFTにします。
TIME EDGE WIDTH	【TEWD】	エッジ幅の設定です。
	【 6 】	0～10ドットの範囲で設定します。

TIME	EDGE COLOR	【TECO】	エッジの色設定です。
	LUMINANCE	【LUMI】	輝度設定です。
		【 30 】	0～110%の範囲で設定します。
	HUE	【 HUE 】	色相設定です。
		【 63 】	0～359° の範囲で設定します。
	SATURATION	【 SAT 】	彩度設定です。
		【 70 】	0～100%の範囲で設定します。
	TIME EFFECT	【TEFT】	切り替わりのエフェクト設定です。
		【CUT】	CUTにします。
		【FADE】	FADEにします。
	【HROT】	H ROTATEにします。	
	【VROT】	V ROTATEにします。	
TIME 12H	【T12H】	タイムの表現方法を12時間表記か24時間表記か選択します。	
	【12H0】	午後0時を0時と表示します。	
	【24H】	24時間表記で表示します。	
	【12H1】	午後0時を12時と表示します。	
TIME FORM	【TFOR】	タイムの表示形式を選択します。	
	【 1 】	形式0～9の範囲で設定します。	
TIME KEY	【TKEY】	キーレベルの設定です。	
	【 100 】	0～100%の範囲で設定します。	
DATE		【DATE】	デイトの設定です。
DATE FONT		【DFON】	書体の設定です。
		【FON1】	FON1～4で設定します。
DATE SIZE		【DSIZ】	サイズの設定です。
		【 60 】	10～100級の範囲で設定します。
DATE TYOU		【DTYO】	長体率の設定です。
		【 0 】	0～50%の範囲で設定します。
DATE SLANT		【DSLN】	斜体率の設定です。
		【 0 】	0～30%の範囲で設定します。
DATE SPACE		【DSPC】	文字間隔の設定です。
		【 -20 】	-50～50ドットの範囲で設定します。
DATE DELIMITER		【DDL M】	区切り間隔の設定です。
		【 -10 】	-50～50ドットの範囲で設定します。
DATE COLOR		【DCOL】	文字の色設定です。
	LUMINANCE	【LUMI】	輝度設定です。
		【 30 】	0～110%の範囲で設定します。
	HUE	【 HUE 】	色相設定です。
		【 100 】	0～359° の範囲で設定します。
	SATURATION	【 SAT 】	彩度設定です。
【 63 】		0～100%の範囲で設定します。	
DATE EDGE		【DEDG】	エッジの設定です。
		【HARD】	エッジをHARDにします。
		【SOFT】	エッジをSOFTにします。
DATE EDGE WIDTH		【DEWD】	エッジ幅の設定です。
		【 6 】	0～10ドットの範囲で設定します。

DATE EDGE COLOR	【ECOL】	エッジ色の設定です。
LUMINANCE	【LUMI】	エッジの輝度設定です。
	【 0 】	0～110%の範囲で設定します。
HUE	【 HUE 】	エッジの色相設定です。
	【 0 】	0～359° の範囲で設定します。
SATURATION	【 SAT 】	エッジの彩度設定です。
	【 0 】	0～100%の範囲で設定します。
DATE FORMAT	【DFOR】	DATEの表示形式を設定します。
	【 8 】	形式0～12の範囲で設定します。
DATE KEY	【DKEY】	キーレベルを設定します。
	【 100 】	0～100%の範囲で設定します。
CONFIG	【CONF】	環境の設定です。
REFERENCE	【 REF 】	リファレンス信号分配モードを選択します。
EXT_DIRECT	【EDIR】	REF信号に同期し、リファレンス信号を分配しません。
EXT_SUB	【ESUB】	REF信号を筐体内バスから受信します。
LINE	【 LINE 】	LINE信号に同期し、リファレンス信号を分配しません。
PHASE	【PHAS】	リファレンスに対する出力信号の位相調整設定です。
H PHASE	【 H 】	水平方向の位相調整です。
	【 0 】	0～2199ドットの範囲で設定します。
V PHASE	【 V 】	垂直方向表示位置設定です。
	【 0 】	0～1124ラインの範囲で設定します。
OFFSET	【OFFS】	時刻やエフェクトのオフセットを設定します。
TIME OFFSET	【 TIME 】	時刻のオフセットを設定します。
	【 0 】	-180～180フレームの範囲で設定します。
EFFECT OFFSET	【EFCT】	FADE,ROTATEのエフェクト開始時間を設定します。
	【 0 】	0～30フレームの範囲で設定します。
TAKE	【TAKE】	REMOTEコネクタの入力ピンをアサインします。
PIN	【 PIN 】	アサインするピンを選択します。
	【 1 】	1～4の範囲で設定します。
SELECT	【 SEL 】	接点入力の機能を選択します。
	【TIME】	タイム、デイト、ロゴ、画面番号を設定します。
TYPE	【TYPE】	入力の種類を設定します。
LEVEL	【LEVL】	レベル入力を設定します。
EDGE	【EDGE】	エッジ入力を設定します。
TALLY	【TALY】	REMOTEコネクタの出力ピンをアサインします。
PIN	【 PIN 】	アサインするピンを選択します。
	【 1 】	1～4の範囲で設定します。
SELECT	【 SEL 】	接点出力の機能を選択します。
	【TIME】	タイム、デイト、ロゴ、画面番号を設定します。

CLOCK		【CLOK】	内部タイマーの日付と時刻を設定します。
	YEAR	【YEAR】	年を設定します。
		【 2000 】	2000～2099までの範囲で設定します。
	MON	【MON】	月を設定します
		【 1 】	1～12の範囲で設定します。
	DAY	【DAY】	日を設定します。
		【 1 】	1～31までの範囲で設定します。
	HOUR	【HOUR】	時を設定します
		【 0 】	0～23の範囲で設定します。
	MINUTES	【MINU】	分を設定します。
		【 0 】	0～59までの範囲で設定します。
	SECOND	【SEC】	秒を設定します
		【 0 】	0～59の範囲で設定します。
VERSION		【VER】	本モジュールのバージョン情報を表示します。

3. 各機能説明

【SCRN】・・・表示画面のレイアウトを設定します。

- ・【SCNO】・・・画面番号を選択します。ツマミを回すと画面番号が切り替わり表示されます。
- ・【STIM】・・・SCNO で選択した画面番号のタイムのレイアウトを設定します。
 - ・【PRNO】・・・タイムのプリセット番号を設定します。
 - ・【DISP】・・・タイムの表示有効/無効を設定します。表示中の画面ならば表示/非表示になります。
 - ・【POSI】・・・タイムの表示位置を設定します。
- ・【SDAT】・・・SCNO で選択した画面番号のデイトのレイアウトを設定します。
 - ・【PRNO】・・・デイトのプリセット番号を設定します。
 - ・【DISP】・・・デイトの表示有効/無効を設定します。表示中の画面ならば表示/非表示になります。
 - ・【POSI】・・・デイトの表示位置を設定します。
- ・【SLOG】・・・SCNO で選択した画面番号のロゴのレイアウトを設定します。
 - ・【PRNO】・・・ロゴのプリセット番号を設定します。
 - ・【DISP】・・・ロゴの表示有効/無効を設定します。表示中の画面ならば表示/非表示になります。
 - ・【POSI】・・・ロゴの表示位置を設定します。

【TIME】・・・現在表示している画面番号のタイムの属性を設定します。

- ・【TFON】・・・書体(FONT1～4)を設定します。
標準は FONT1=角ゴシ FONT2=丸ゴシ FONT3=明朝 FONT4=ルナ になります。
- ・【TSIZ】・・・文字サイズを設定します。10～100 級の範囲です。
- ・【TTYO】・・・横幅が指定した比率だけ縮小した長体率を設定します。0～50%の範囲です。
- ・【TSLN】・・・水平方向に指定した比率だけ上部が右に傾いた斜体率を設定します。0～30%の範囲です。
- ・【TSPC】・・・文字間隔を設定します。-50～50ドットの範囲です。
- ・【TDLM】・・・「時」、「分」、「:」、「.」を区切り文字とし、区切り文字と数字との間隔を設定します。
-50～50ドットの範囲です。
- ・【TCOL】・・・文字の色を設定します。
 - ・【LUMI】・・・表示文字の輝度設定です。0～110%の範囲です。
 - ・【HUE】・・・表示文字の色相設定です。0～359° の範囲です。
 - ・【SAT】・・・表示文字の彩度設定です。0～100%の範囲です。
- ・【TEDG】・・・エッジの種類を設定します。HARD/SOFT。
- ・【TEWD】・・・エッジの幅を設定します。0～10ドットの範囲です。
- ・【TECO】・・・エッジの色を設定します。
 - ・【LUMI】・・・エッジの輝度設定です。0～110%の範囲です。
 - ・【HUE】・・・エッジの色相設定です。0～359° の範囲です。
 - ・【SAT】・・・エッジの彩度設定です。0～100%の範囲です。
- ・【TEFT】・・・時刻の切り替わりの種類を設定します。CUT/FADE/HROT/VROT。
 - CUT・・・時刻がカットで切り替わります。
 - FADE・・・時刻がフェードアウト、フェードインして切り替わります。
 - HROT・・・縦軸を中心に横方向に回転します。
 - VROT・・・横軸を中心に縦方向に回転します。
- ・【T12H】・・・タイムの表現方法を 12 時間表記か 24 時間表記か選択します。。12H0/24H/12H1。
 - 12H0・・・午後 0 時を 0 時と表示します。
 - 24H・・・24 時間表記で表示します。

12H1・・・午後 0 時を 12 時と表示します。

・【TFOR】・・・時刻の表示形式を設定します。0～9 の範囲です。

0=hh:MM:SS 1=hh:MM 2=hh.MM.SS

3=hh.MM.SS 4=hh.MM 5=hh MM SS

6=hh MM 7=hh 時 MM 分 SS 秒 8=hh 時 MM 分

9=hh 時 mm 分

・【TKEY】・・・タイムのキーレベルを設定します。0～100%の範囲です。

【DATE】・・・現在表示している画面番号のデイトの属性を設定します。

・【DFON】・・・書体(FONT1～4)を設定します。

標準は FONT1=角ゴシ FONT2=丸ゴシ FONT3=明朝 FONT4=ルナ になります。

・【DSIZ】・・・文字サイズを設定します。10～100 級の範囲です。

・【DTYO】・・・横幅が指定した比率だけ縮小した長体率を設定します。0～50%の範囲です。

・【DSLN】・・・水平方向に指定した比率だけ上部が右に傾いた斜体率を設定します。0～30%の範囲です。

・【DSPC】・・・文字間隔を設定します。-50～50 ドットの範囲です。

・【DDL M】・・・「時」、「分」、「:」、「.」を区切り文字とし、区切り文字と数字との間隔を設定します。

-50～50 ドットの範囲です。

・【DCOL】・・・文字の色を設定します。

・【LUMI】・・・表示文字の輝度設定です。0～110%の範囲です。

・【HUE】・・・表示文字の色相設定です。0～359° の範囲です。

・【SAT】・・・表示文字の彩度設定です。0～100%の範囲です。

・【DEDG】・・・エッジの種類を設定します。HARD/SOFT。

・【DEWD】・・・エッジの幅を設定します。0～10 ドットの範囲です。

・【DECO】・・・エッジの色を設定します。

・【LUMI】・・・エッジの輝度設定です。0～110%の範囲です。

・【HUE】・・・エッジの色相設定です。0～359° の範囲です。

・【SAT】・・・エッジの彩度設定です。0～100%。の範囲です

・【DFOR】・・・日付の表示形式を設定します。0～12 の範囲です。

0=YYYY 年 mm 月 dd 日 1=mm 月 dd 日(WWW) 2=mm 月 dd 日(WW)

3=YYYY 年 mm 月 dd 日(WWW) 4=YYYY 年 mm 月 dd 日(WW) 5=mm 月 dd 日

6=mm.dd 7=yyyy.mm.dd 8=yyyy.mm.dd(WWW)

9=YY.mm.dd 10=YY.mm.dd(WWW) 11=dd(WWW)

12=dd(WW)

・【DKEY】・・・デイトのキーレベルを設定します。0～100%の範囲です。

【CONF】・・・システム環境の設定を行います。

・【REF】・・・リファレンス信号入力モードを選択します。EDIR/ESUB/LINE。

EDIR・・・リファレンス信号に同期し、他のスロットの基板へ分配しません。

ESUB・・・リファレンス信号を筐体内バスから受信します。

LINE・・・ライン信号に同期し、他のスロットの基板へ分配しません。

・【PHAS】・・・リファレンスに対する出力信号の位相調整を行います。

・【H】・・・水平方向の位相を調整します。0～2199 ドットの範囲です。

・【V】・・・垂直方向の位相を調整します。0～1124 ラインの範囲です。

・【OFFS】・・・時刻やエフェクトの時間調整を行います。

- ・【TIME】・・・時刻のオフセットを設定します。-180～180 フレームの範囲です。
- ・【EFCT】・・・FADE、ROTATE のエフェクト開始時間を設定します。0～30 フレームの範囲です。
- ・【TAKE】・・・REMOTE コネクタの入力ピンをアサインします。。
- ・【PIN】・・・アサインするピンを選択します。1～4 の範囲です。
- ・【SEL】・・・接点入力機能を選択します。
 - OFF.....何も制御しません。
 - TIME、DATE、LOGO・・・表示の ON/OFF を行います。
 - SCR1～32:..... 画面番号の切り替えです。。
- ・【TYPE】・・・入力の種類を設定します。LEVL/TRIG。
 - LEVL.....表示の場合、make で表示 ON、break で表示 OFF になります。
 - 画面切り替えの場合、make で切り替え、break は何もしません。
 - TRIG.....表示の場合、接点変化時の make で表示 ON、次の変化 make で OFF になります。
 - 画面切り替えの場合、接点変化時の make で画面が切り替わります。
- ・【TALY】・・・REMOTE コネクタの出力ピンをアサインします。。
- ・【PIN】・・・アサインするピンを選択します。1～4 の範囲です。
- ・【SEL】・・・接点出力機能を選択します。
 - OFF.....何も制御しません。
 - TIME、DATE、LOGO・・・表示で ON、非表示で OFF になります。
 - SCR1～32:..... 選択した画面番号が表示されると ON になります。
- 【CLOC】・・・システム環境の設定を行います。
 - ・【YEAR】・・・年を設定します。2000～2099 の範囲です。
 - ・【MON 】・・・月を設定します。1～12 の範囲です。
 - ・【DAY 】・・・日を設定します。1～31 の範囲です。
 - ・【HOUR】・・・時を設定します。0～23 の範囲です。
 - ・【MINU】・・・分を設定します。0～59 の範囲です。
 - ・【SEC 】・・・秒を設定します。0～59 の範囲です。
- 【VER 】・・・本モジュールのバージョンを表示します。

5. ブラウザによる操作方法

1. 各種設定メニューの起動

Vbus-70C筐体にあるLANをPCと接続し、WebServer対応オプションを使って起動します。PCのLAN接続やブラウザの起動方法の詳細については、Vbus-70C-03WebServer対応オプション取扱説明書をご覧ください。

ブラウザのアドレス入力欄に「192.168.1.1」または「http://192.168.1.1/index.html」を入力し、ENTERキーを入力します。WebServerのログイン画面が表示されますのでUSER ID、PASSWORDを入力するとWebServerのメイン画面が表示されます。該当するTLG-70SBを左クリックすると以下の画面が表示されます。

TLG-70SB

main system

MAIN MENU			
画面設定			
		画面番号	1
名称設定(半角英数字と“-”8文字まで)			
更新 リセット 初期化 呼び出し			
タイム	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動/四方		手動
横表示位置	0~1919	50	
縦表示位置	0~1079	50	
デイト	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動/四方		手動
横表示位置	0~1919	50	
縦表示位置	0~1079	400	
ロゴ	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動のみ		
横表示位置	0~1919	150	
縦表示位置	0~1079	0	

タイム設定			
パターン 1			
更新 リセット 初期化 呼び出し			
項目名	範囲	現在	変更
フォント番号	1~4	1	変更無し
フォントサイズ	10~100級	60	
長体率	0~50%	0	
斜体率	0~30%	0	
文字間隔	-50~50ドット	-20	
区切り間隔	-50~50ドット	-10	
輝度	0~110%	100	
彩度	0~100%	0	
色相	0~359°	0	
エッジ種類	—	HARD	・HARD ・SOFT
幅	0~10	6	
輝度	0~110%	30	
彩度	0~110%	70	
色相	0~359°	63	
エフェクト	—	CUT	
12H/24H	—	12H(0)	12H(0)
表示フォーマット	—	hh:MM	変更無し
キーレベル	0~100%	100	

ROTATE H.V のエフェクト選択は、プリセット番号 1~4 までです。

上部の「main」、「system」をクリックして設定画面を呼び出し、パターン毎に項目を設定していくのが基本的な操作方法となります。画面設定メニューの「詳細」をクリックすると、右側にタイム、デイト、ロゴの設定画面が表示されます。

「main」は、MAIN MENUの画面設定メニューに移行します。

「system」は、SYSTEM MENUの表示コントロール、内部時計設定、フォント登録、環境設定、自動送出設定、メンテナンス、REMOTE設定項目を選択するメニューに移行します。

2. 画面設定

「main」をクリックすると以下の画面が表示されます。

ここでは画面表示に関する設定を行います。

「更新」 : 値を入力した項目が設定され、画面が更新されます。何も入力していなければ設定は行われません。

「リセット」 : 入力中の値をクリアします。

「初期化」 : 設定を初期状態にします。

「呼び出し」 : ボタンを押すと指定した画面番号の設定値を呼び出します。(画面は更新しません)

名称設定には呼び出した画面番号につけられた名称が表示されます。

名称設定のテキストボックスに名前を入力し「更新」ボタンを押して名称をつけることができます。

画面番号を変える場合は、画面番号を選択して「呼び出し」ボタンを押してください。

TLG-70SB

main

system

MAIN MENU

画面設定

画面番号

名称設定(半角英数字と“-“8文字まで)

更新

リセット

初期化

呼び出し

タイム	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動/四方		手動
横表示位置	0~1919	50	
縦表示位置	0~1079	50	

デイト	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動/四方		手動
横表示位置	0~1919	50	
縦表示位置	0~1079	400	

ロゴ	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動のみ		
横表示位置	0~1919	150	
縦表示位置	0~1079	0	

タイム設定

パターン 1

更新

リセット

初期化

呼び出し

項目名	範囲	現在	変更
フォント番号	1~4	1	変更無し
フォントサイズ	10~100級	60	
長体率	0~50%	0	
斜体率	0~30%	0	
文字間隔	-50~50ドット	-20	
区切り間隔	-50~50ドット	-10	
輝度	0~110%	100	
彩度	0~100%	0	
色相	0~359°	0	
エッジ種類	—	HARD	・HARD ・SOFT
幅	0~10	6	
輝度	0~110%	30	
彩度	0~110%	70	
色相	0~359°	63	
エフェクト	—	CUT	
12H/24H	—	12H(0)	12H(0)
表示フォーム	—	hh:MM	変更無し
キーレベル	0~100%	100	

ROTATE H,Vのエフェクト選択は、プリセット番号 1~4 までです。

各項目について

・タイム

(1) パターン

タイムのパターンを指定します。

(2) 表示

チェックを入れることにより、タイムが表示有効になります。

(3) 位置設定

手動が選択されているときに横表示位置、縦表示位置が有効になります。

左上、右上、左下、右下を選択すると自動で位置設定されます。

(4)横表示位置

水平方向の表示位置を指定します。

範囲は0～1919です。

(5)縦表示位置

垂直方向の表示位置を指定します。

範囲は0～1079です。

タイムが表示範囲を超えた場合、左または上から折り返して表示されることがあります。

・デイト

(1)パターン

デイトのパターンを指定します。

(2)日付表示

チェックを入れることにより、デイトが表示有効になります。

(3)位置設定

手動が選択されているときに横表示位置、縦表示位置が有効になります。

左上、右上、左下、右下を選択すると自動で位置設定されます。

(4)横表示位置

水平方向の表示位置を指定します。

範囲は0～1919です。

(5)縦表示位置

垂直方向の表示位置を指定します。

範囲は0～1079です。

デイトが表示範囲を超えた場合、左または上から折り返して表示されることがあります。

・ロゴ

(1)ロゴ

ロゴのパターンを指定します。

(2)表示

チェックを入れることにより、ロゴが表示有効になります。

(3)位置設定

横表示位置、縦表示位置が常に有効になります。

(4)横表示位置

水平方向の表示位置を指定します。

範囲は0～1919です。

(5)縦表示位置

垂直方向の表示位置を指定します。

範囲は0～1079です。

ロゴが表示範囲を超えた場合、左または上から折り返して表示されることがあります。

3. タイム設定

タイムに関する設定を行います。

「main」をクリックするとMAIN MENU画面を表示します。

画面設定の「タイム」欄にある詳細をクリックすると右側にタイム設定画面を表示します。

設定値を入力し、「更新」ボタンを押すと状態が保存され、画面が更新されます。

「更新」 : 値を入力した項目が設定され、画面が更新されます。何も入力していなければ設定は行われません。

「リセット」 : 入力中の値をクリアします。

「初期化」 : 設定を初期状態にします。

「呼び出し」 : 設定情報を再表示します。

他のタイムパターンを設定する場合は「画面設定」のタイム項目を変更後、画面設定を更新してから、詳細をクリックしてタイム画面を呼び出してください。

TLG-70SB

main

system

MAIN MENU			
画面設定			
画面番号		1	
名称設定(半角英数字と"-8文字まで)			
更新	リセット	初期化	呼び出し
タイム	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動/四方		手動
横表示位置	0~1919	50	
縦表示位置	0~1079	50	
デイト	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動/四方		手動
横表示位置	0~1919	50	
縦表示位置	0~1079	400	
ロゴ	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動のみ		
横表示位置	0~1919	150	
縦表示位置	0~1079	0	

タイム設定			
パターン 1			
更新	リセット	初期化	呼び出し
項目名	範囲	現在	変更
フォント番号	1~4	1	変更無し
フォントサイズ	10~100級	60	
長体率	0~50%	0	
斜体率	0~30%	0	
文字間隔	-50~50ドット	-20	
区切り間隔	-50~50ドット	-10	
輝度	0~110%	100	
彩度	0~100%	0	
色相	0~359°	0	
エッジ種類	—	HARD	・HARD ・SOFT
幅	0~10	6	
輝度	0~110%	30	
彩度	0~110%	70	
色相	0~359°	63	
エフェクト	—	CUT	
12H/24H	—	12H(0)	12H(0)
表示フォーム	—	hhMM	変更無し
キーレベル	0~100%	100	

ROTATE H/V のエフェクト選択は、プリセット番号 1~4 までです。

各項目について

(1) フォント番号

使用するフォントを設定します。4つのフォントのうち1つを選択します。

(2) フォントサイズ

フォントの大きさを設定します。範囲は10~100級です。

(3) 長体率

横幅が指定した比率だけ縮小した長体率を設定します。範囲は0～50%です。

(4) 斜体率

水平方向に指定した比率だけ上部が右に傾いた斜体率を設定します。範囲は0～30%です。

(5) 文字間隔

文字間隔を指定します。範囲は-50～50ドットです

(6) 区切り間隔

「時」、「分」、「:」、「.」を区切り文字とし、区切り文字と数字との間隔を指定します。

範囲は-50～50ドットまでです。

(7) 輝度

文字の輝度を指定します。範囲は0～110%です。

(8) 彩度

文字の彩度を指定します。範囲は0～100%です。

(9) 色相

文字の色相を指定します。範囲は0～359° です。

(10) エッジ種類

エッジの種類をHARDまたはSOFTを選択します。

(11) エッジ幅

エッジ幅を指定します。範囲は0～10です。

(12) エッジ輝度

エッジの輝度を指定します。範囲は0～110%です。

(13) エッジ彩度

エッジの彩度を指定します。範囲は0～100%です。

(14) エッジ色相

エッジの色相を指定します。範囲は0～359° です。

(15) エフェクト

表示切り替え効果を選択します。CUT、FADE、HROTATE、VROTATEから選択します。

HROTATE、VROTATEは、タイム設定のプリセット番号1～4でのみ選択できます。

(16) 12H/24H

時刻の表現方法を12時間表記か24時間表記か選択します。12H(0)/24H.12H(12)から選択します。

12H(0)は午後0時を0時、12H(12)は12時と表示します。

(17) 表示フォーマット

時刻の表示方法を以下の中から選択します。

hh:MM:SS

hh:MM

hh:MM.SS

hh.MM.SS

hh.MM

hh MM SS

hh MM

hh時MM分SS秒

hh時MM分

hh時mm分

アルファベットの小文字で表記されている表示フォーマットは、先頭の0は表示されず、スペースが入ります。

例:hh時mm分 04時05分→ 4時 5分

hh時MM分 04時05分→ 4時05分

CUTのみ秒まで表示できます。

エフェクトがFADE、ROTATEの場合、hh時MM分SS秒 などを指定しても秒は表示されません。

(18)キーレベル

タイムの透過率を設定します。100%で映像が透過せず、50%で映像とタイムが合成され、0%でタイムが完全に透過し、表示されなくなります。

4. デイト設定

デイトに関する設定を行います。

「main」をクリックするとMAIN MENU画面を表示します。

画面設定の「デイト」欄にある詳細をクリックすると右側にデイト設定画面を表示します。

設定値を入力し、「更新」ボタンを押すと状態が保存され、画面が更新されます。

「更新」：入力中の値を設定します。設定後画面が更新されます。

「リセット」：入力中の値をクリアします。

「初期化」：設定を初期状態にします。

「呼び出し」：設定情報を再表示します。

他のデイトパターンを設定する場合は「画面設定」のデイト項目を変更後、画面設定を更新してから詳細をクリックしてデイト設定画面を呼び出してください。

TLG-70SB

main

system

MAIN MENU

画面設定

画面番号

名称設定(半角英数字と“-“8文字まで)

タイム	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1～16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動/四方		手動
横表示位置	0～1919	50	
縦表示位置	0～1079	50	

デイト	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1～16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動/四方		手動
横表示位置	0～1919	50	
縦表示位置	0～1079	400	

ロゴ	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1～16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動のみ		
横表示位置	0～1919	150	
縦表示位置	0～1079	0	

デイト設定

パターン 1

項目名	範囲	現在	変更
フォント番号	1～4	1	変更無し
フォントサイズ	10～100級	60	
長体率	0～50%	0	
斜体率	0～30%	0	
文字間隔	-50～50ドット	-20	
区切り間隔	-50～50ドット	-10	
輝度	0～110%	30	
彩度	0～100%	63	
色相	0～359°	100	
エッジ種類	—	HARD	・HARD ・SOFT
幅	0～10	6	
輝度	0～110%	0	
彩度	0～110%	0	
色相	0～359°	0	
表示フォーム	—	yyyy.mm.d d(WWW)	
キーレベル	0～100%	100	

各項目について

(1) フォント番号

使用するフォントを設定します。4つのフォントのうち1つを選択します。

(2) フォントサイズ

フォントの大きさを設定します。範囲は10～100級です。

(3) 長体率

横幅が指定した比率だけ縮小した長体率を設定します。範囲は0～50%です。

(4) 斜体率

水平方向に指定した比率だけ上部が右に傾いた斜体率を設定します。範囲は0～30%です。

(5) 文字間隔

文字間隔を指定します。範囲は-50～50ドットです。

(6) 区切り間隔

「時」、「分」、「:」、「.」を区切り文字とし、区切り文字と数字との間隔を指定します。

範囲は-50～50ドットまでです。

(7) 輝度

輝度を指定します。範囲は0～110%です。

(8) 彩度

彩度を指定します。範囲は0～100%です。

(9) 色相

色相を指定します。範囲は0～359° です。

(10) エッジ種類

エッジの種類をHARDまたはSOFTを選択します。

(11) エッジ幅

エッジ幅を指定します。範囲は0～10です。

(12) エッジ輝度

エッジの輝度を指定します。範囲は0～110%です。

(13) エッジ彩度

エッジの彩度を指定します。範囲は0～100%です。

(14) エッジ色相

エッジの色相を指定します。範囲は0～359° です。

(15) 表示フォーマット

デイトの表示方法を以下の中から選択します。WWWIは英語表記、WWIは漢字表記となります。

YYYY年mm月dd日

mm月dd日(WWW)

mm月dd日(WW)

YYYY年mm月dd日(WWW)

YYYY年mm月dd日(WW)

mm月dd日

mm.dd

yyyy.mm.dd

yyyy.mm.dd(WWW)

YY.mm.dd

YY.mm.dd(WWW)

dd(WWW)

dd(WW)

アルファベットの小文字で表記されている表示フォーマットは、先頭の0は表示されず、スペースが入ります。

例:mm月dd日 05月06日→ 5月 6日

(16)キーレベル

デイトの透過率を設定します。100%で映像が透過せず、50%で映像とデイトが合成され、0%でデイトが完全に透過し、表示されなくなります。

5. ロゴ登録

ロゴに関する設定を行います。

「main」をクリックするとMAIN MENU画面を表示します。

画面設定の「ロゴ」欄にある詳細をクリックすると右側にロゴ登録画面を表示します。

「更新」 : キーレベル値の設定、削除の実行を行います。

「削除実行」: ファイル名の横にあるボックスで有効を指定し、ボタンを押すと削除します。

「呼び出し」: 呼び出しボタンの上にあるボックスでパターンを指定し、ボタンを押して呼び出します。

「ファイルを選択」: ファイル選択ウィンドウが開かれます。登録するロゴファイルを選択します。

「送信」 : 選択したロゴファイルをモジュールに送ります。

同じファイル名が登録されているパターンがある場合、それら全てのロゴ登録が削除されます。

他のイメージパターンを設定する場合は、イメージ登録画面にあるパターンを指定して「呼び出し」ボタンを押すか、「画面設定」のイメージパターンを変更後、画面設定を更新ボタンしてから詳細をクリックしてください。

TLG-70SB

main

system

MAIN MENU			
画面設定			
		画面番号	1
名称設定(半角英数字と"-"8文字まで)			
更新	リセット	初期化	呼び出し
タイム	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動/四方		手動
横表示位置	0~1919	50	
縦表示位置	0~1079	50	
デイト	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動/四方		手動
横表示位置	0~1919	50	
縦表示位置	0~1079	400	
ロゴ	範囲	現在	変更 詳細
パターン	1~16	1	変更無し
表示	on/off	ON	☐
位置指定	手動のみ		
横表示位置	0~1919	150	
縦表示位置	0~1079	0	

ロゴ登録			
パターン 1			
更新	削除実行	呼び出し	
項目名	範囲	現在の状態	変更
ファイル名	-	TLG00001.tif	削除 無効
キーレベル	0~100%	0	

送信するイロゴファイルを選んで、送信ボタンを押してください。(8+3文字形式)

ファイル:

各項目について

(1) ファイル名

ロゴのファイル名を表示します。

ロゴファイルを削除する場合、削除の項目を「無効」から「有効」に変更して更新ボタンを押してください。

(2) キーレベル

ロゴの透過率を設定します。100%で映像が透過せず、50%で映像とロゴが合成され、0%でロゴが完全に透過し、表示されなくなります。

ロゴファイルは、32ビット(RGB α)の非圧縮TIFFファイルが使えます。

サイズは512×512までです。

表示位置が映像範囲を超えた場合、折り返して表示されますので注意してください。

6. 表示コントロール

「system」をクリックするとSYSTEM MENU画面を表示します。

SYSTEM MENUの「表示コントロール」をクリックすると右側に表示コントロール画面を表示します。

TLG-70SB

main

system

SYSTEM MENU	
表示コントロール	
内部時計設定	
フォント登録	
環境設定	
自動送出設定	
メンテナンス	
REMOTE 設定	

表示コントロール	
DISPLAY	ALARM
TIME DATE LOGO	INPUT REF LTC

各項目について

(1) DISPLAY

画面設定で表示有効にしたタイム、デイト、ロゴを強制的に表示します。

釦を押すと表示し再度押すと非表示になります。

「TIME」 タイムの表示コントロールです。

「DATE」 デイトの表示コントロールです。

「LOGO」 ロゴの表示コントロールです。

(2) ALARM

エラーの時は、赤色に点灯します。

「INPUT」 入力信号がないと赤く点灯します。

「TIME」 選択モードとREF信号が合わないとき赤く点灯します。

「LTC」 LTC信号無しするとき赤く点灯します。LTC信号エラーの時アンバーに点灯します。

7. 内部時計設定

時計に関する設定を行います。

「system」をクリックするとSYSTEM MENU画面を表示します。

SYSTEM MENUの「内部時計設定」をクリックすると右側に内部時計設定画面を表示します。

ここではTLG-70SB内部の時計を設定します。

「更新」：表示されている時刻が設定されます。

「再読込」：TLG-70SBに設定されている現在時刻を画面に表示します。

LTC信号が入力されている場合、時刻を変更しないでください。表示に異常が出る場合があります。

また、LTC信号が入力されている場合、時刻を変更してもすぐにLTC信号から入力される時刻に変更されます。

LTC信号から入力される時刻はTLG-70SB内部の時計に設定される為、LTC信号が入力されている場合、表示される時刻はLTC信号と同時刻となります。

TLG-70SB

main

system

SYSTEM MENU

表示コントロール

内部時計設定

フォント登録

環境設定

自動送出設定

メンテナンス

REMOTE 設定

内部時計設定

年	月	日	時	分	秒
2004	1	1	0	0	0

更新

再読込

各項目について

(1)年

西暦を入力します。設定範囲は2000～2099です。

(2)月

月を入力します。設定範囲は1～12です。

(3)日

日にちを入力します。設定範囲は1～31です。

(4)時

時間を入力します。設定範囲は0～23です。

(5)分

分を入力します。設定範囲は0～59です。

(6)秒

秒を入力します。設定範囲は0～59です。

曜日は年月日から自動的に計算されます。

8. フォント登録

タイム、デイトで使用するフォントに関する設定を行います。

「system」をクリックするとSYSTEM MENU画面を表示します。

SYSTEM MENUの「フォント登録」をクリックすると右側にフォント登録画面を表示します。

「呼び出し」: 指定したフォント番号を表示します。

「削除実行」: 削除の項目を「有効」に選択し、「削除実行」ボタンを押すと登録されているフォントが削除されます。

「ファイルを選択」: ファイル選択ウィンドウが開かれます。登録するファイルを選択します。

「送信」 : 選択したフォントファイルをモジュールに送ります。

登録したフォントを削除すると、標準フォントファイルに置きかえられます。表示中のフォントの削除、置きかえはできません。

TLG-70SB

main

system

SYSTEM MENU

表示コントロール

内部時計設定

フォント登録

環境設定

自動送出設定

メンテナンス

REMOTE 設定

フォント登録

フォント番号

1

呼び出し

削除実行

フォント	現在
フォント名	角ゴシ
ファイル名	jkfont1.dat
削除	無効

送信するフォントファイルを選んで、送信卸を押してください。(8文字以内)サイズは4MB以下

ファイル:

ファイルを選択

各項目について

(1)フォント名

登録しているフォントファイルのフォント名を表示します。

(2)ファイル名

登録しているフォントファイルのファイル名を表示します。

(3) 削除

登録しているフォントファイルの削除をする場合、削除を「無効」から「有効」に変更して削除実行ボタンを押してください。

フォントは、ビデオトロン(株)標準フォントとTrueTypeフォントが使えます。

TrueTypeフォントは拡張子「ttf」のみ使用できます。

登録できるフォントのサイズは4Mバイトまでです。

文字	SJIS	文字	SJIS	文字	SJIS	文字	SJIS
0～9	0030～0039	年	944E	A	0041	O(オー)	004F
:(コロン)	003A	日	93FA	D	0044	R	0052
.(ピリオド)	002E	月	8C8E	E	0045	S	0053
(	0028	火	89CE	F	0046	T	0054
)	0029	水	9085	H	0048	U	0055
時	8E9E	木	96D8	I	0049	W	0057
分	95AA	金	8BE0	M	004D		
秒	9562	土	9379	N	004E		

表3-1 日本語文字コード対応表(シフトJIS)

9. 環境設定

時刻表示に関する環境の設定を行います。

「system」をクリックするとSYSTEM MENU画面を表示します。

SYSTEM MENUの「環境設定」をクリックすると右側に環境設定画面を表示します。

「更新」 : 入力中の値が設定され、画面が更新されます。

「リセット」 : 入力中の値をクリアします。

「呼び出し」 : 現在値が呼び出されます。

TLG-70SB

main

system

SYSTEM MENU	環境設定																												
表示コントロール	更新 リセット 呼び出し																												
内部時計設定																													
フォント登録																													
環境設定	<table border="1"><thead><tr><th>項目名</th><th>範囲</th><th>現在</th><th>変更</th></tr></thead><tbody><tr><td>リファレンス設定</td><td>-</td><td>EDIR</td><td></td></tr><tr><td>H 位相調整</td><td>0~2199</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>V 位相調整</td><td>0~1124</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>時刻オフセット</td><td>-180~180フレーム</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>エフェクトオフセット</td><td>0~30フレーム</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>TESTモード</td><td>on/off</td><td>off</td><td>☐</td></tr></tbody></table>	項目名	範囲	現在	変更	リファレンス設定	-	EDIR		H 位相調整	0~2199	0		V 位相調整	0~1124	0		時刻オフセット	-180~180フレーム	0		エフェクトオフセット	0~30フレーム	0		TESTモード	on/off	off	☐
項目名	範囲	現在	変更																										
リファレンス設定	-	EDIR																											
H 位相調整	0~2199	0																											
V 位相調整	0~1124	0																											
時刻オフセット	-180~180フレーム	0																											
エフェクトオフセット	0~30フレーム	0																											
TESTモード	on/off	off	☐																										
自動送出設定																													
メンテナンス																													
REMOTE 設定																													

各項目について

(1) REFERENCE

リファレンス信号入力モード EDIR/ESUB/LINE を選択します。

EDIR・・・リファレンス信号に同期し、他のスロットの基板へ分配しません。

ESUB・・・リファレンス信号を筐体内バスから受信します。

LINE・・・ライン信号に同期し、他のスロットの基板へ分配しません。

(2) H位相調整

リファレンスに対する出力信号の水平方向の位相調整を行います。設定範囲は0~2199ドットです。

(3) V位相調整

リファレンスに対する出力信号の垂直方向の位相調整を行います。設定範囲は0～1124ラインです。

(4) 時刻オフセット

時刻のオフセットをフレーム単位で指定します。設定範囲は-180～180フレームです。

(5) エフェクトオフセット

時刻表示エフェクトのFADE、ROTATE開始時間をフレーム単位で指定します。設定範囲は0～30フレームです。

(4) TESTモード

時刻が6倍速に進むようになります。TESTモードを使用する場合チェックを入れてください。

自動送出やエフェクトの動作チェックに使用します。

10. 送出設定

自動送出に関する設定を行います。

上部のモード選択バーにある「自動送出設定」をクリックすると右側に自動送出画面を表示します。

ここでは自動的に画面を送出する予定表を登録します。

月曜日から金曜日までの平日、土曜日、日曜日の3パターンに分けてそれぞれ8イベントまで登録できます。

「更新」 : 入力中の値を設定します。

「リセット」 : 入力中の値をクリアします。

「初期化」 : 設定を初期状態にします。

「自動送出」 : 自動送出の実行、停止を選択します。

「設定」 : 「自動送出」で選択した状態を設定します。

TLG-70SB

main

system

SYSTEM MENU 表示コントロール 内部時計設定 フォント登録 環境設定 自動送出設定 メンテナンス REMOTE 設定	自動送出設定					△
	自動送出		停止中			
	停止		設定			
	更新		リセット		初期化	
	月～金曜日					
	イベント番号	予約	開始時刻	終了時刻	送出画面	
	1	☐	0:0:0	0:0:0	1	
	2	☐	0:0:0	0:0:0	2	
	3	☐	0:0:0	0:0:0	3	
	4	☐	0:0:0	0:0:0	4	
5	☐	0:0:0	0:0:0	5		
6	☐	0:0:0	0:0:0	6		
7	☐	0:0:0	0:0:0	7		
8	☐	0:0:0	0:0:0	8		
土曜日						
イベント番号	予約	開始時刻	終了時刻	送出画面		
1	☐	0:0:0	0:0:0	1		
2	☐	0:0:0	0:0:0	2		▽

各項目について

(1) イベント番号

送出するイベントの番号です。1から順に登録します。

イベント番号1より前の時間をイベント時間2以降に設定しないで下さい。

(2) 予約

送出するイベント番号の予約ボックスにチェックをつけます。

チェックがついていないイベント番号は送出されません。

(3) 開始時刻

送出を開始する時刻を入力します。

(4) 終了時刻

送出を終了する時刻を入力します。

(5) 送出番号

送出する画面番号を入力します。

自動送出を「実行」に変更し、「設定」ボタンを押すと自動送出を実行します。

自動送出を「停止」に変更し、「設定」ボタンを押すと自動送出を停止します。

自動送出を停止すると最後に表示していた送出画面が表示されます。

また、自動送出を停止した状態で画面設定、フォント登録、環境設定、自動送出設定画面を開くと画面設定で開いているプリセット番号が表示されます。ご注意ください。

終了時刻が××:××:00のとき、エフェクトが終了してから次の画面に変わります。

(注: 自動送出が実行されていても、タイム、デイト、ロゴの表示有効がONでなければ画面 には送出されません。

詳細は、4. 操作方法のP-30「6.表示コントロール」を参照してください。)

11. メンテナンス

TLG-70SBのプログラムアップロード、設定データの保存・復元の設定を行います。

「system」をクリックするとSYSTEM MENU画面を表示します。

SYSTEM MENUの「メンテナンス」をクリックすると右側にメンテナンス画面を表示します。

TLG-70SB	main	system
----------	------	--------

SYSTEM MENU

表示コントロール

内部時計設定

フォント登録

環境設定

自動送出設定

メンテナンス

REMOTE 設定

メンテナンス

設定データの保存 COND | ▼ ポップアップブロックが表示された場合、もう一度保存釦を押してください。
保存ボタンを押してください。 保存

設定データの復元
設定ボタンを押してください。 復元

プログラム アップロード
送信するファイルを選んで、送信釦を押してください。(8+3 文字形式)
ファイル: ファイルを選択
送信

ブート ROM 書込み
書込みボタンを押してください。 書込み

各項目について

(1) 設定データの保存

モジュールに設定したデータやログをパソコンに保存します。

コンボボックスからCONDまたはLOG0、LOG1、LOG2、を選択して「保存」ボタンを押すと選択したファイルを保存します。

CONDはコンディションデータ(画面設定やタイム、デイトなどの設定データ)です。

名前は「cond.dat」です。

LOGはTLG-70SBのログデータです。名前は「tlgsblg0.dat～tlgsblg2.dat」です。ログデータは3ファイル分まで保存されます。ログデータが存在しない場合、空のファイルが作成されます。

(2) 設定データの復元

アップロードしたデータ「cond.dat」の内容をモジュール設定に復元します。

「復元」ボタンを押すと、実行されます。

(1)で保存したコンディションデータのファイルを、「参照」ボタンを押すと表示されるウィンドウから選択して「送信」ボタンを押し、設定の復元を行います。

復元した後は表示が乱れることがありますので、必ずTLG-70SBを再起動してください。

(3) ファイルアップロード

プログラムファイルやコンディションデータをアップロードします。プログラムファイルの名前は「tlg70sb.bin」です。コンディションデータは「cond.dat」です。

「ファイルを選択」ボタンを押すと、アップロードするファイルを選択するウィンドウが表示されます。

「送信」ボタンを押すと、選択したファイルをモジュールにアップロードします。

(4) ブートROM書込み

アップロードしたプログラムファイルをROMIに書込みます。

「書込み」ボタンを押すと、書込みを開始します。

TLG-70SBIはブートROMIに書かれているプログラムで起動していますが、フラッシュメモリにプログラムファイルがある場合、プログラムファイルで起動します。

その為、プログラムファイルが初期化などで消去されるとROMIに書かれているバージョンで立ち上がります。

フラッシュメモリにプログラムファイルが存在しない場合、ブートROM書込みは失敗します。

各種設定をした後は、「設定データの保存」でパソコンに保存しておくことをお勧めします。

ロゴデータ、フォントデータは、メンテナンスメニューからは保存できませんので、FTPを使いあらかじめパソコンに保存してください。

12. REMOTE 設定

外部制御用REMOTEコネクタのピンアサインを設定します。

「system」をクリックするとSYSTEM MENU画面を表示します。

SYSTEM MENUの「REMOTE設定」をクリックすると右側にREMOTE設定画面を表示します。

「更新」: 入力中の値を設定します。

「リセット」: 入力中の値をクリアします。

「呼び出し」: 現在の設定内容を読み出します。

TLG-70SB

main

system

SYSTEM MENU

表示コントロール

内部時計設定

フォント登録

環境設定

自動送出設定

メンテナンス

REMOTE 設定

REMOTE 設定

更新

リセット

呼び出し

PIN種別	検知法現在	検知方法	機能割当現在	機能割当
IN1	LEVEL	変更なし	TIME	変更なし
IN2	LEVEL	変更なし	DATE	変更なし
IN3	LEVEL	変更なし	LOGO	変更なし
IN4	LEVEL	変更なし	OFF	変更なし
OUT1	—	—	TIME	変更なし
OUT2	—	—	DATE	変更なし
OUT3	—	—	LOGO	変更なし
OUT4	—	—	OFF	変更なし

各項目について

(1) PIN種別

IN1～4: 入力ピンです。TAKE信号になります。

OUT1～4: 出力ピンです。TALLY信号になります。

(2) 検知方法現在

現在の検知方法を表示します。IN1～4Iに有効です。

LEVEL(レベルトリガー)かEDGE(エッジトリガー)になります。

TIME、DATE、LOGOの場合

LEVEL: レベルトリガー検知 MAKE中は強制表示、BREAK中は強制非表示になります。

EDGE: エッジトリガー検知 BREAKからMAKEの変化で強制表示、強制非表示を繰り返します。

画面番号SCRN1～32の場合(LEVEL、EDGE共通)

BREAKからMAKEの変化で画面番号を設定します。

(3) 検知方法

検知方法を設定します。IN1～4Iに有効です。

LEVEL(レベルトリガー)かEDGE(エッジトリガー)を設定します。

(4) 機能割当現在

OFF、TIME、DATE、LOGOとSCRN1～32を表示します。

OFF: 何も設定しません。

TIME: タイムを強制表示します。

DATE: デイトを強制表示します。

LOGO: ロゴを強制表示します。

SCRN1～32: 指定した画面番号を表示します。

(5) 機能割当

OFF、TIME、DATE、LOGOとSCRN1～32を設定します。

6. ディップスイッチの機能について

ディップスイッチの設定を行うことでフラッシュの初期化や動作の変更を行うことができます。

ディップスイッチはSW2という名称でモジュールの中央にあります。

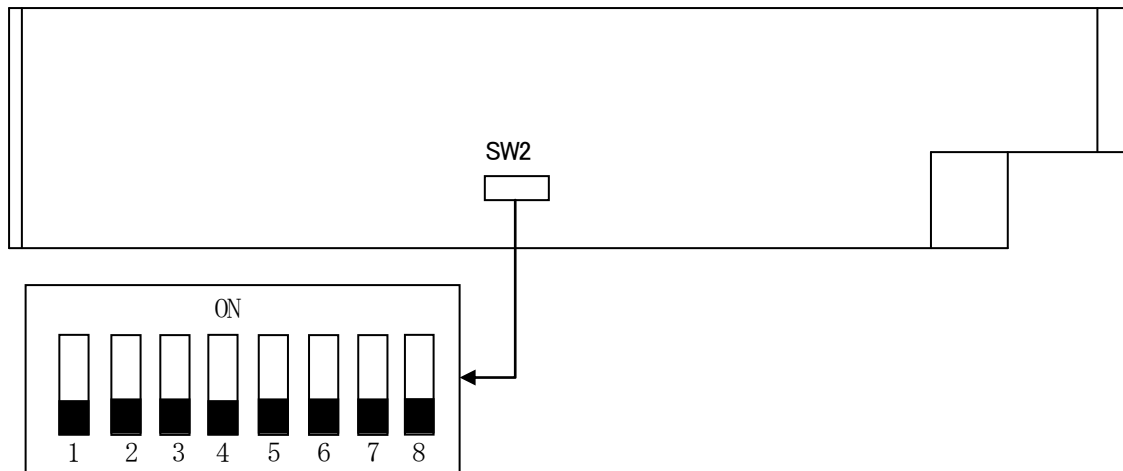


図6-1 ディップスイッチ配置図

未使用のスイッチは全てOFFにしてください。

番号	内容	出荷時設定
1	外部制御用切り替え時間の設定。	OFF
	ON 10フレーム後に切り替わります。 描画時間がかかる場合、正しく表示しないことがあります。	
	OFF 1秒で切り替わります。通常の動作です。	
2	BOOT ROMで起動の選択。 正常に動作しない場合、BOOT ROMのプログラムで動作させるために使用します。	OFF
	ON BOOT ROMで起動します。	
	OFF 機能を使用しません。	
3	未使用	OFF
4	未使用	OFF
5	未使用	OFF
6	LTCデータの年月日のチェック選択。 データに異常がある場合、受信したLTCデータはセットされません。 チェック内容 年:2000~2099 月:1~12 日:1~31 時:0~23 分:0~59 秒:0~59 フレーム:0~29	OFF
	ON 時分秒のみチェックします。	
	OFF 年月日、時分秒、フレームのチェックをします。	
7	ディスクのフォーマット選択。 4GBのフラッシュディスクで約8分程かかります。	OFF
	ON フラッシュディスクとラムディスクをフォーマットします。	
	OFF 機能を使用しません。	
8	工場出荷時設定(初期化)の選択。	OFF
	ON 工場出荷時に設定します。	
	OFF 機能を使用しません。	

フォーマットする場合、フラッシュディスクのファイルは筐体のLANを使ってPCに保存してください。

フォーマット後、保存したファイルをアップロードします。

フォーマット完了時にはモジュール前面の表示器にTLG-70SBとバージョンを表示します。

フォーマットが終わったら電源を落とし、ディップスイッチ7番をOFFにしてください。

ONのままだと再起動をした際にフォーマットが行われてしまいます。

工場出荷時(初期化)設定が終わったら電源を落とし、ディップスイッチ8番をOFFにしてください。

ONのままだと再起動をした際に工場出荷時(初期化)設定が行われてしまいます。

初期化すると以下の設定が行われます。

・画面設定初期化

画面番号1	表示ON、表示位置(横:縦) タイム(50:50)、デイト(50:400)、ロゴ(150:0) パターン全て1
-------	--

画面番号1以外	表示OFF、表示位置 横縦ともに全て0、パターン全て1
---------	-----------------------------

・タイム設定初期化 パターン1のみサイズ60、キーレベル100、それ以外フォントサイズ10、
キーレベル0、各色設定初期化

・デイト設定初期化 パターン1のみサイズ60、キーレベル100、それ以外フォントサイズ10、
キーレベル0、各色設定初期化

・ロゴ設定初期化 キーレベル0、全イメージ登録削除

・ユーザーデータ初期化 ロゴ削除、ユーザーフォントデータ削除

ロゴファイルの転送に関する詳細は、5. ブラウザによる操作方法の「5. ロゴ登録」を参照してください。

フォントファイルの転送に関する詳細は、5. ブラウザによる操作方法の「8. フォント登録」を参照してください。

7. 外部インターフェース

背面の REMOTE コネクターのピンは、フリーアサインになっており、OFF、TIME、DATE、LOGO、画面番号(SCRN1～SCRN32)を設定することができます。また、各ピンの検知方法も選択できます。

これらの設定はメニューやブラウザで行います。IN は TAKE、OUT は TALLY としています。

誤動作を防ぐため 100ms 以上は安定にしてください。

(1)REMOTE ピンアサイン

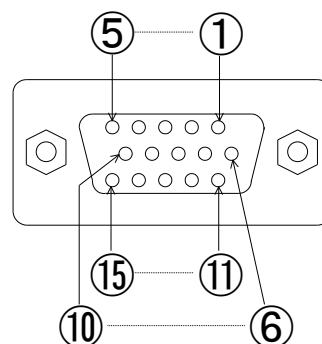
ピン番号	信号名	入出力	機能	
1	IN1	接点入力	※1	レベルトリガーと エッジトリガーを 切り替え可能※2
2	IN2	接点入力	※1	
3	IN3	接点入力	※1	
4	IN4	接点入力	※1	
5	OUT1	接点出力	※1	
6	OUT1	接点出力		
7	OUT2	接点出力	※1	
8	OUT2	接点出力		
9	OUT3	接点出力	※1	
10	OUT3	接点出力		
11	GND	-	GND(接点入力コモン)	
12	OUT4	接点出力	※1	
13	OUT4	接点出力		
14	N.C.		未使用	
15	GND	-	GND(接点入力コモン)	

※1 OFF、TIME、DATE、LOGO、SCRN1～SCRN32 から選択

※2 TIME、DATE、LOGO を選択した場合、レベルトリガーは MAKE で強制表示、BREAK で強制非表示となり、エッジトリガーは BREAK→MAKE の変化で強制表示、強制非表示を繰り返します。

SCRN1～SCRN32 を選択した場合、レベルトリガー、エッジトリガーとも BREAK→MAKE の変化で設定され、BREAK しても設定を保持します。

Dsub-15(f)
高密度タイプ
コネクタ接続面



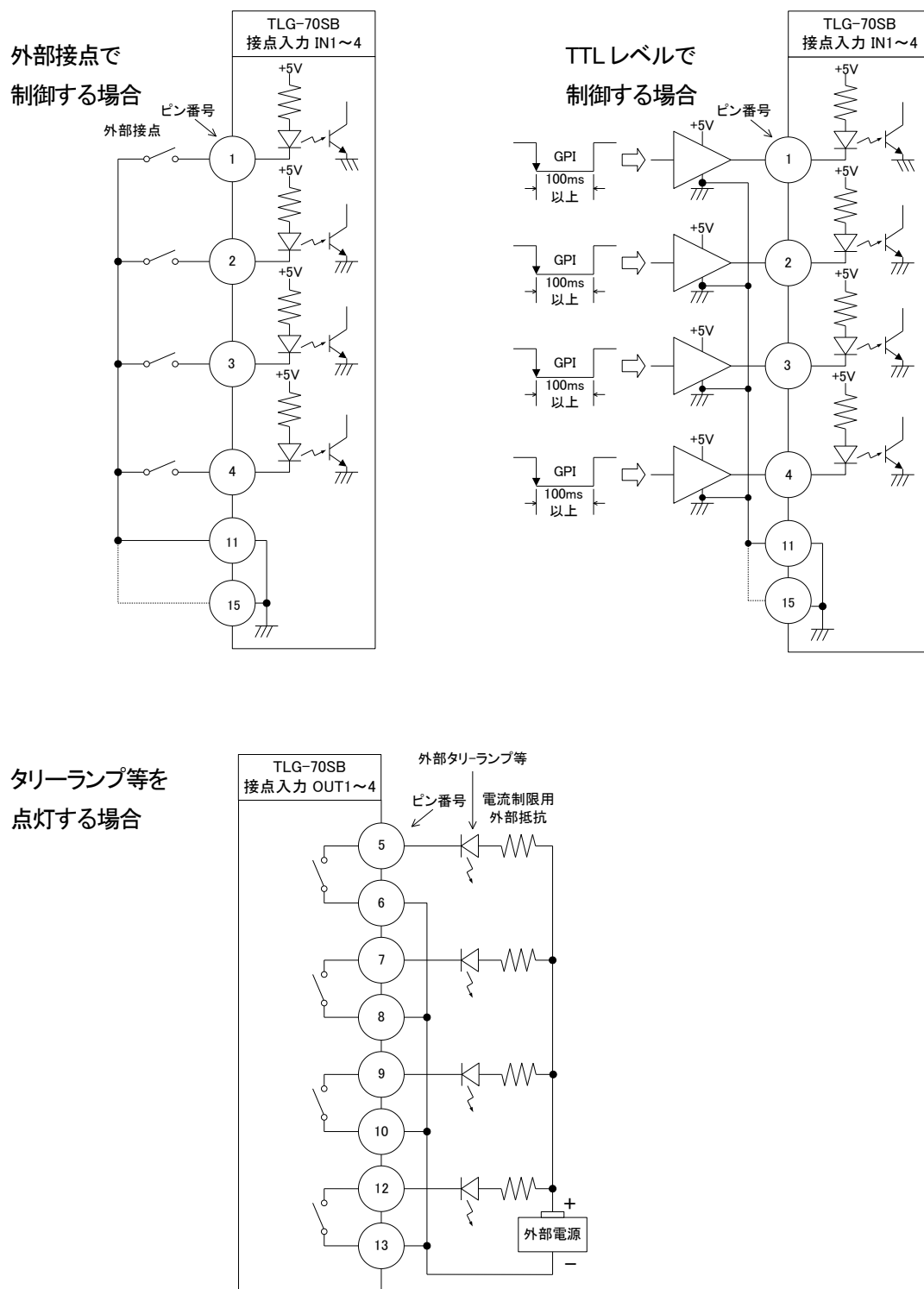
ケーブル用適合コネクタ 型番:D02-M15PG-N-F0(日本航空電子社製)

ケーブル用適合コネクタコンタクト 型番:D02-22-26P-PKG100(日本航空電子社製)

ケーブル用適合コネクタカバー 型番:17JE-09H-1C(第一電子工業社製)

注)必ず上記の指定されたコネクタ、コンタクト、カバーを使用してください。

(2)接続



※ 接点入力をロジックで制御する場合、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。

※ 接点出力の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。

8. 表示タイミング

1. エフェクト表示タイミング

エフェクトは、分の切り替え 1 秒前から行われます。

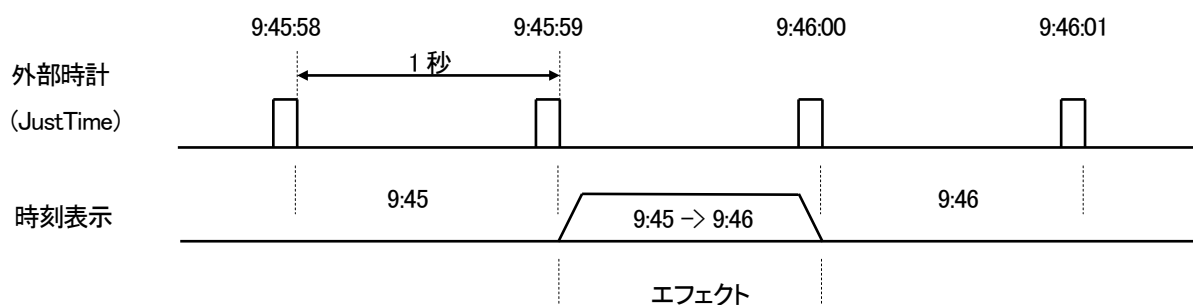


図 8-1 エフェクト表示タイミング図

FADE、ROTATE のエフェクト開始時間は、環境設定のエフェクトオフセットで 30 フレームまで遅延できます。
エフェクトオフセットの詳細は、5. ブラウザによる操作方法の「9. 環境設定 (5)エフェクトオフセット」を参照してください。）

2. 外部信号と表示タイミング

TLG-70SB の REMOTE コネクターによりタイム、デイト、ロゴのテイク、画面番号の切り替えをコントロールします。

入力信号の読みとり、画面の切り替えタイミングは、ODD フィールドで行います。

メニューやブラウザからレベルトリガーかエッジトリガーで検知するように設定することができます。

以下の説明で接点の MAKE は ON、BREAK は OFF になります。Low レベルは MAKE を意味します。

(1)表示の ON/OFF

●レベルトリガー検知

タイム、デイト、ロゴの MAKE を次の ODD フレームまで検知し MAKE 中は強制表示します。

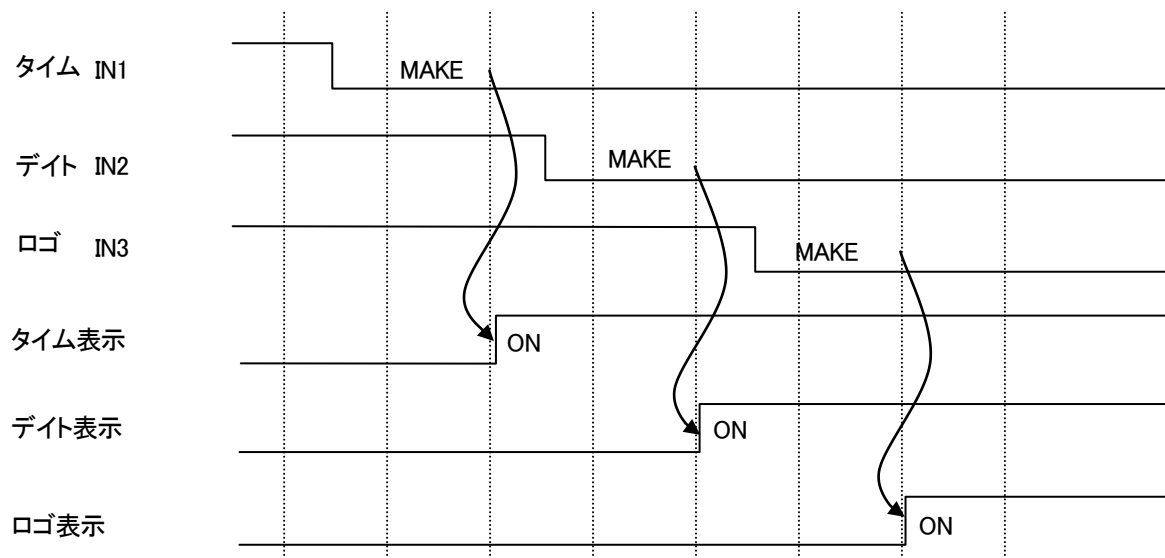


図 8-2 強制表示 ON/OFF 図(レベルトリガー検知)

●エッジトリガー検知

タイム、デイト、ロゴの MAKE を次の ODD フレームまで検知し MAKE 毎に強制表示・強制非表示を繰り返します。

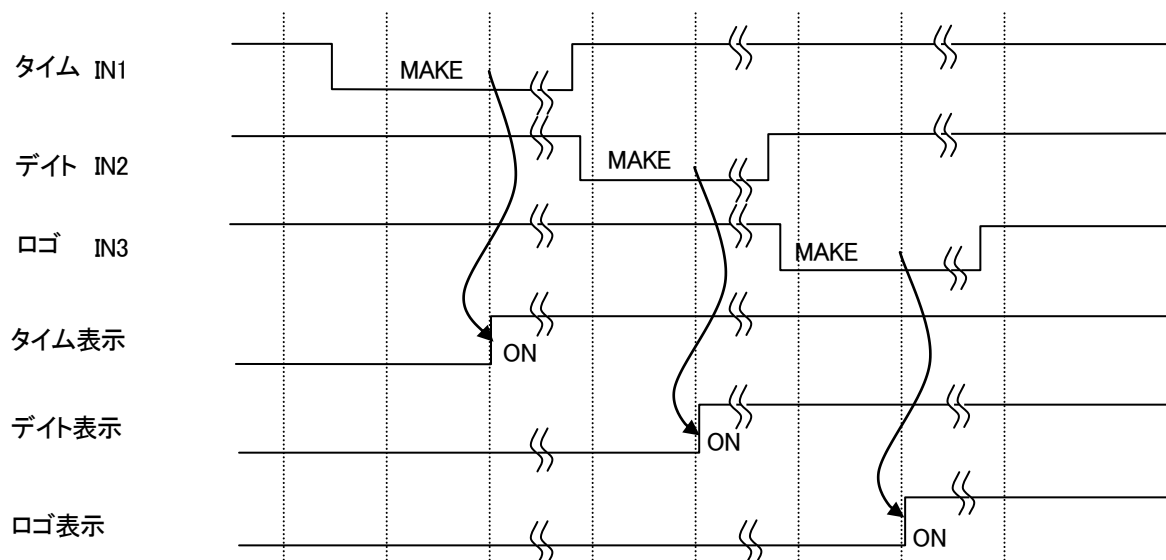
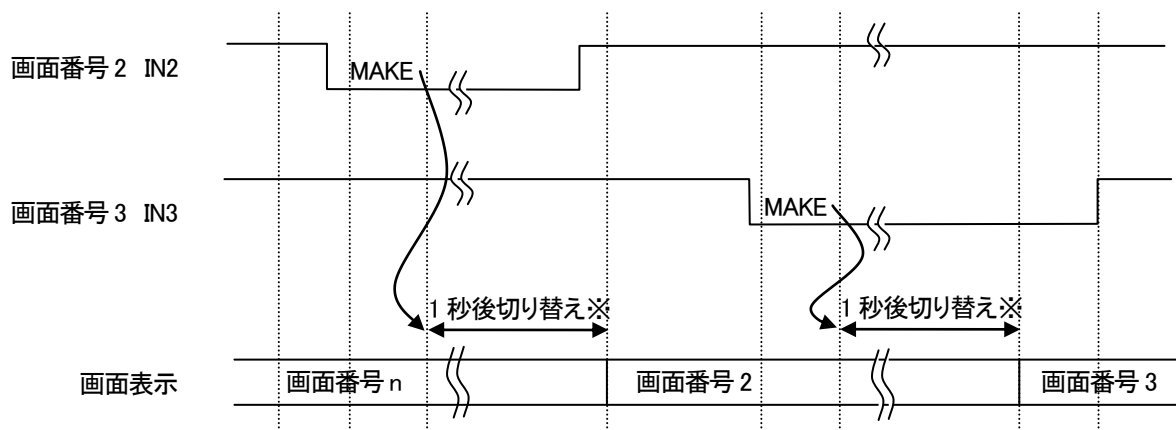


図 8-3 強制表示 ON/OFF 図(エッジトリガー検知)

(2)画面番号の切り替え(レベルトリガー、エッジトリガー共通)

画面番号を MAKE して、1 秒後※の ODD フィールドで切り替え、BREAK しても画面番号を保持します。



※ディップスイッチ SW2-1 が OFF で 1 秒、ON で 10 フレーム後に画面番号を切り替えます。

図 8-4 画面番号の切り替え図

3. ROTATE エフェクトのコントロールについて

ROTATE エフェクトの動きをスムーズにするため 30 フレームのエフェクト画像をあらかじめ仕込んでから表示します。

40 級のフォントの仕込みに約 10 秒かかります。フォントが大きくなるとさらに時間がかかります。

分替わり開始 1 秒前の外部信号でも正しく ROTATE するように、分替わり後、常に仕込みを行っています。タイムのプリセット番号 1~4 までのエフェクトがすべて ROTATE であれば、常に 4 つの ROTATE エフェクトを仕込みます。

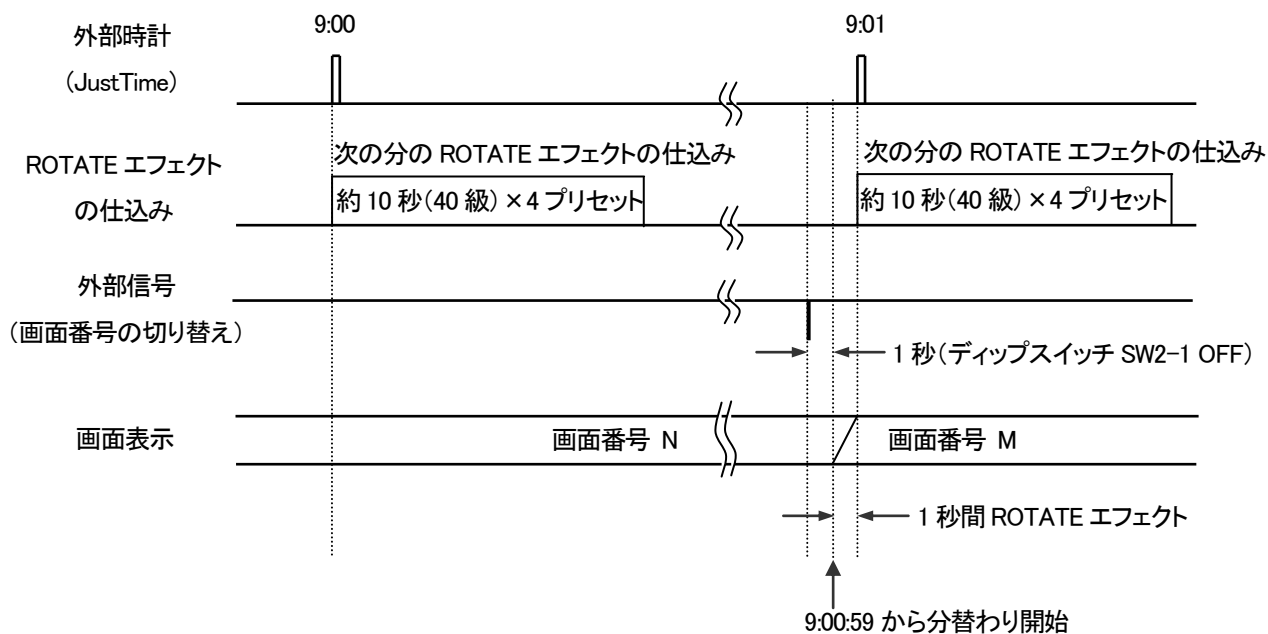


図 8-5 ROTATE エフェクトコントロール図

9. 保守

モジュールの設定データ、ロゴ、フォント等は、万が一に備えパソコンにバックアップしておくことをお勧めします。

1. モジュール交換

TLG-70SB モジュールを交換する際に、設定データを移したい場合は、以下の手順で行ってください。プログラムは、最新のバージョンが入っていると仮定します。

(1) モジュール交換後のデータの復旧手順

不具合や故障等でモジュールの交換が必要となったとき、以下の手順でデータの復旧を行ってください。

1) ディップスイッチを交換前の状態に合わせます。

2) モジュールを筐体にセットし、本体の電源スイッチを ON にします。

3) バックアップデータを保存してあるパソコンと Vbus-70C 筐体の LAN を接続します。

4) ブラウザのアドレス入力欄に「192.168.1.1」または「http://192.168.1.1/index.html」を入力しブラウザメニューを開きます。詳細については、Vbus-70C-03WebServer 対応オプション取扱説明書をご覧ください。

5) 外部フォントをアップロードします。

SYSTEM MENU の「フォント登録」からアップロードします。

詳細は、5. ブラウザによる操作方法の「8. フォント登録」を参照してください。

6) ロゴファイルをアップロードします。

SYSTEM MENU の「ロゴ登録」からアップロードします。

詳細は、5. ブラウザによる操作方法の「5. ロゴ登録」を参照してください。

7) 本体を再起動します。

設定の確認をするには、ブラウザメニューを開きます。

2. プログラムのバージョンアップ方法

機能追加等でプログラムが更新されたとき、以下の手順でバージョンアップを行ってください。

1) プログラムファイルが保存してあるパソコンと Vbus-70C 筐体を LAN で接続します。

(注: LAN の接続については Vbus-70C-03WebServer 対応オプション取扱説明書をご覧ください。)

2) ブラウザを開き、TLG-70SB に接続します。

3) 弊社より送付されたプログラムファイルをアップロードします。

メンテナンスメニューの「プログラムアップロード」からアップロードします。

弊社より送付されたプログラムファイル「tlg70sb.bin」をアップロードしてください。

詳細は、5. ブラウザによる操作方法の「メンテナンス」を参照してください。

4) 本体を再起動します。

5) モジュールの表示器でバージョンを確認をします。

10. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の→は対処方法を示しています)

現 象 電源が入らない。

原 因 ・本体正面の電源スイッチはON側になっていますか？

・本体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？

・本体のヒューズは切れていませんか？

→もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば直ちに使用を中止し、当社製造技術部にご連絡ください。

現 象 出力画面がまったく表示されない。

原 因 ・モニターと本体はただしく接続されていますか？

・電源スイッチはON側になっていますか？

現 象 タイム、デイト、ロゴが表示されない。または位置、表示がおかしい。

原 因 ・表示の設定がOFFになっていませんか？

・表示位置は正しい位置に設定されていますか？

→4. モジュール前面パネルによる操作方法の「SCRN」メニューで各プリセット表示のON/OFFや表示位置を設定してください。

→5. ブラウザによる操作方法の「2.画面設定」で各プリセット表示のON/OFFや表示位置を設定してください。

・存在しないフォント番号を指定していませんか？

→4. モジュール前面パネルによる操作方法の「TIME」または「DATE」メニューで設定で既存のフォントを指定してください。

→5. ブラウザによる操作方法の「3.タイム設定」または「4.デイト設定」の設定で既存のフォントを指定してください。

・表示コントロールはONIになっていますか？

→4. モジュール前面パネルによる操作方法の「SCRN」メニューで各プリセットの「DISP」のON/OFFしてください。

→5. ブラウザによる操作方法の「6.表示コントロール」で表示コントロールをONIにしてください。

・級数、長体率、斜体率の大きいフォントが複数登録されていると、表示されなくなるまたは一部が欠けてしまう文字があります。

→4. モジュール前面パネルによる操作方法の「TIME」または「DATE」メニューの設定でフォントを変えるか、級数・長体率・斜体率のいずれかの設定を変更してみてください。

→5. ブラウザによる操作方法の「3.タイム設定」または「4.デイト設定」の設定でフォントを変えるか、級数・長体率・斜体率のいずれかの設定を変更してみてください。

・ディップスイッチの8番をONIにして初期化しましたか？

→初期化した場合、フォントは標準フォントに、画面は1のみ表示できます。

現 象 パソコンでコントロールできない。

原 因 ・LANケーブルは接続されていますか？

・IPアドレスの設定はあっていますか？

現 象 INPUTランプが点灯しない。

原 因 ・LINE INに本線映像信号は入力されていますか？

・入力されている本線映像信号は、本機に対応した映像フォーマットですか？

※パッチ盤使用に関するお知らせ

当機種は、LINE OUT1を本線、LINE OUT2をパッチ盤に接続してご使用の際、パッチ盤へのジャック挿抜により、稀にLINE OUT1にCRCエラーが発生する場合があります(OUT2本線、OUT1パッチ時も同様)。

運用中のパッチ盤切り替えはなるべく行わないようお願いいたします。

本事象は、LINE OUT1とLINE OUT2で同一のデバイスを使用し、一方が正(+)出力、もう一方が負(-)出力の回路構成でHD-SDI使用時に発生いたします。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

11. 注意事項

- (1) TLG-70SB は文字の表示速度を上げるため、電源投入時やフォントの属性を変えた場合、ワーク用メモリに画像データとして保存しています。ワーク用メモリの容量は、24M バイトあります。
設定できる文字数に制限がありますので注意してください。
以下の項目を考慮して画面設定を行ってください。
- 使用しない画面は、画面設定で表示 OFF にします。
 - 100 級の文字設定を 2 画面位にし、残りを小さい級数の文字にします。
 - 画面設定でデイトの表示を OFF にしタイムのみを使用します。
- (2) フォントによっては級数、長体率、斜体率を上げると、表示されなくなるまたは一部が欠けてしまう文字があります。
フォントを変えるか、級数、長体率、斜体率のいずれかの設定を変更してみてください。
- (3) TrueType フォントは拡張子が「.ttf」のみ使用できます。
- (4) フォント登録で登録できるフォントのサイズは 4M バイトまでです。
- (5) エフェクト時間は 1 秒間です。
- (6) タイムのプリセット番号 1～4 が、H-ROTATE、V-ROTATE を選択できます。
プリセット番号 5～16 は、CUT、FADE のみの選択になります。
- (7) 送出画面番号の切り替えは、カットになります。
- (8) 秒表示のある画面に切り替えたとき、最初の 1 秒は正しく表示しないことがあります。
- (9) ロゴが表示範囲を超えた場合、左または上から折り返して表示されることがあります。位置移動をする場合は注意してください。
- (10) 「更新」、「送信」、「初期化」、「削除実行」、自動送出の「設定」ボタンのいずれかを押した後は、モニターに反映されるまでブラウザの操作は避けください。操作ができなくなる場合があります。
- (11) ブラウザで操作ができなくなったときは、少し時間をおくか、V-bus 筐体の電源を入れ直して再起動をしてください。
- (12) フォント登録、ロゴ登録やフォントの番号・級数・長体率・斜体率等を変更した場合、運針が止まる場合がありますので注意してください。処理が終了すると運針が再開します。
- (13) モジュール起動時にタイム、デイトの文字データを用意しているので、大きな文字やパターンをたくさん登録しているとそれだけ時間がかかります。また、フォントのメモリ容量が足りなくなるとフォントが表示されないことや表示に異常が発生する場合があるので注意してください。

12. 仕様

1. 定格

入力信号	
・ REF IN	BBS:0.43V _{p-p} /75Ω、3 値 SYNC:0.6V _{p-p} /75Ω BNC 1 系統
・ LINE IN	SMPTE292M 準拠、0.8V _{p-p} /75Ω BNC 1 系統
・ LTC IN	SMPTE12M-1 準拠、0.5-4.5V _{pp} /1.5kΩ BNC 1 系統
出力信号	
・ LINE OUT 1、2	SMPTE292M 準拠、0.8V _{p-p} ±10%/75Ω BNC 各 1 系統
外部 I/F	
・ REMOTE	接点入力 4、接点出力 4、Dsub-15(f) 高密度タイプ、インチネジ 1 系統 ※1 TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。 ※2 接点の絶対最大定格は 60V、300mA です。外部抵抗で電流を 300mA 以下に制限してください。
映像フォーマット	SMPTE274M準拠、1080i/59.94
LTCバイナリグループフォーマット	SMPTE309M準拠、YYMMDD format/MJD format
動作温度／動作湿度	0～40℃／20～80%RH(ただし結露なき事)
消費電力	7VA (5V,1.4A)
質量	320g(コネクターモジュールを含む)

2. 性能

入力特性	
・ SDI IN	
分解能	10bit
サンプリング周波数	74.18MHz
イコライザー特性	100m/5CFB
反射減衰量	5MHz～742.5MHz: 15dB以上, 742.5MHz～1.485GHz: 10dB以上
出力特性	
・ SDI OUT	
分解能	10bit: 本線, 8bit: タイム、デイト、ロゴ
サンプリング周波数	74.18MHz
信号振幅	0.8V _{p-p} ±10%/75Ω
反射減衰量	5MHz～742.5MHz: 15dB以上, 742.5MHz～1.485GHz: 10dB以上
立ち上がり/立ち下がり時間	270ps以下 (20%～80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V
ジッター特性	アライメント: 0.2UI, タイミング: 1.0UI
入出力遅延(最短)	約4μs
出力特性	
・ 接点入力	12mA以上
・ 接点出力	60V/300mA以下

3. 機能

表示サイズ	1920 × 1080
画面プリセット	
・ 画面プリセット番号	1～32
・ 横表示位置	0～1919
・ 縦表示位置	0～1079
・ フォント	ビデオトロン標準フォント、True Type フォント(4 書体まで)※
・ 文字サイズ	10～100級(1級は約1.6ドット)
・ 長体	0～50%(0%で普通サイズ、横に縮む)
・ 斜体	0～30%(上部が下部より右へずれる)
・ 文字間隔	-50～50 ドット(ーは左に詰まる)
・ 区切り間隔	-50～50 ドット(ーは左に詰まる)
・ 輝度(Y)	0～110%
・ 彩度(S)	0～100%
・ 色相(H)	0～359°
・ 縁取り	幅:0～10ドット、種類:HARD, SOFT
表示文字	
・ 時分秒	00:00:00～23:59:59
・ 年	2000～2099 年
・ 月	1～12 月
・ 日	1～31 日
・ 曜日	月, 火, 水, 木, 金, 土, 日 MON, TUE, WED, THU, FRI, SAT, SUN
ロゴファイル	
・ 画像サイズ	512 × 512
・ 画像フォーマット	TIFF(32ビット(RGB α) 非圧縮 TIFF)
・ 画像ファイル名	8 文字まで(使用可能文字 : 英数字 と記号のハイフン ‘-’)

※フォントの著作権についてはお客様で契約をお願いします。

13. ブロック図

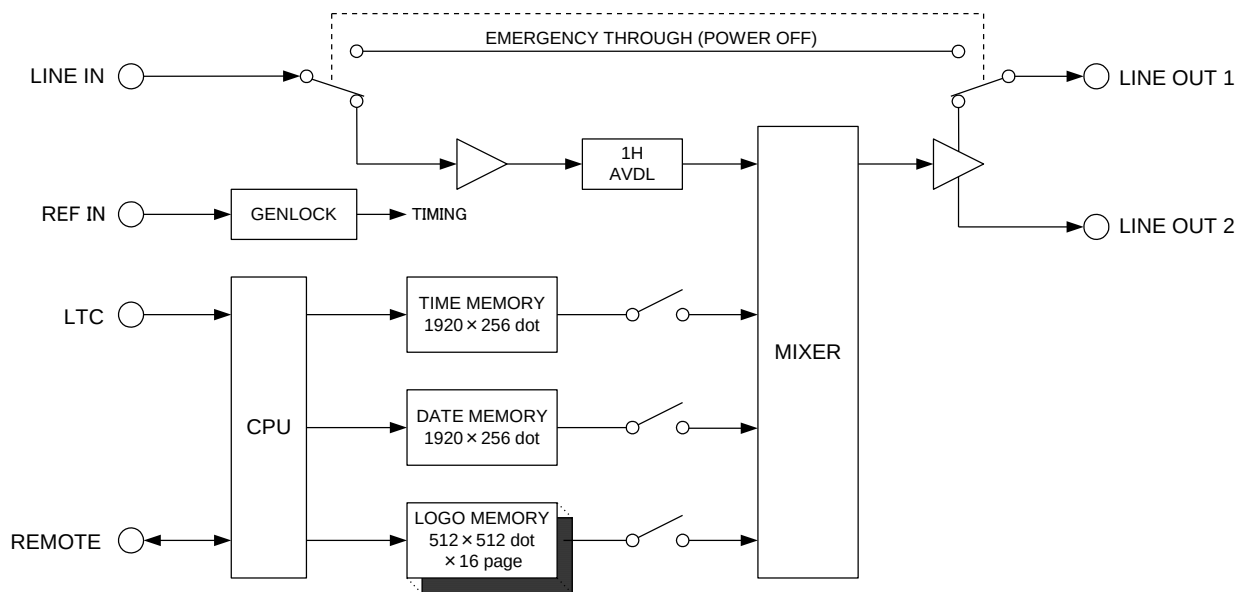


図 13-1 ブロック図

14. SNMP

TLG-70SBのMIBデータは、以下の表に対応します。

オブジェクト識別子は、1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. 20. 1. 222. 1. 1. 項番. indexになります。

indexは、スロット番号1～10です。

MIBデータが変化したときはトラップが発生します。

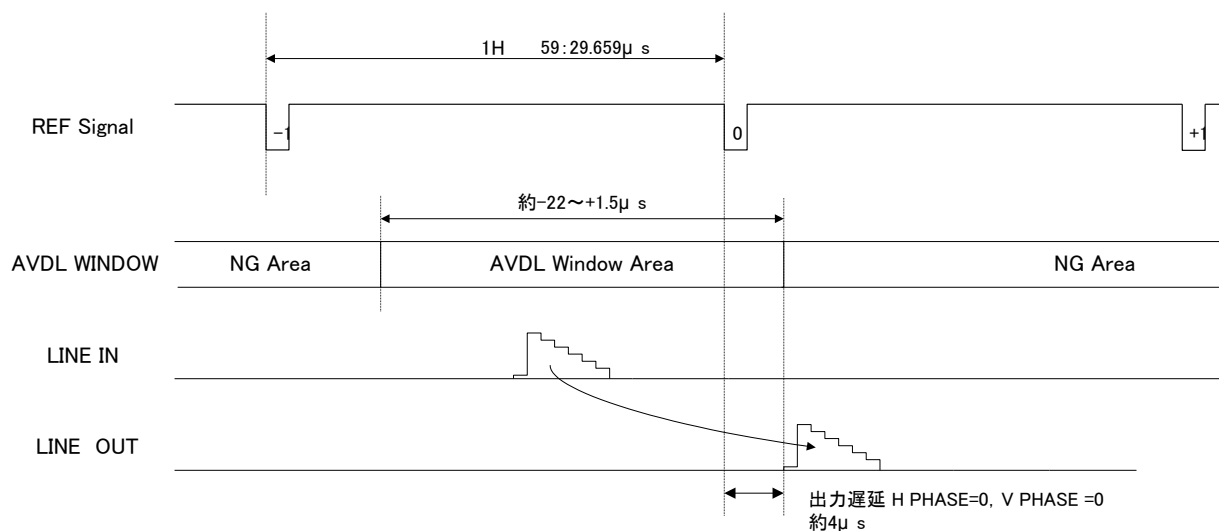
項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バイト数	内容	実装例	SYNTAX
1	tlg70sbPid	R/O	80	プログラム情報	製品コード TLG-70SB 会社名 VIDEOTRON Corp バージョン 01.00.00 R00 製造日 2014/02/07 FRI 時 Build-16:42:08	STRING
3	tlg70sbKcode	R/O	4	機種コード=222	機種コード 222=0xde	INTEGER
40	tlg70sbHard	R/O	4	LCA のバージョン情報 英数字 2 文字 bit0～15:	"V0"=0x5630	INTEGER
41	tlg70sbInput	R/O	4	INPUT STATUS 0=LINE 入力なし REF 入力なし 1=LINE 入力あり 2=REF 入力あり 3=LINE 入力あり REF 入力あり	LINE 入力、REF 入力あり 0x00000003	INTEGER
42	tlg70sbRefSel	R/W	4	現在選択されてるリファレンス 0 = EXT_DIRECT (EDIR) 1 = EXT_SUB (ESUB) 2 = LINE (LINE)	EXT_SUB 選択 0x00000002	INTEGER
43	tlg70sbLtcIn	R/O	4	LTC TimeCode Input 0=InputOK 1=NoInput 2=Data Error	LTC No Input 1	INTEGER
44	tlg70sbDipsw	R/O	4	Bit0～7:0=OFF 1=ON	工場出荷時設定に戻す 0x00000080	INTEGER
45	tlg70sbPhaseH	R/W	4	映像位相 H 0～2199	H:960 960	INTEGER
46	tlg70sbPhaseV	R/W	4	映像位相 V 0～1124	V:10 10	INTEGER
47	tlg0sbCurScrn	R/W	4	現在の画面番号 0～31=画面番号 1～32	画面番号 10 9	INTEGER
48	tlg0sbCurTime	R/W	4	現在の時刻番号 0～15=画面番号 1～16	時刻番号 1 0	INTEGER
49	tlg0sbCurDate	R/W	4	現在の日付番号 0～15=画面番号 1～16	日付番号 2 1	INTEGER
50	tlg0sbCurLogo	R/W	4	現在のロゴ番号 0～15=画面番号 1～16	ロゴ番号 10 9	INTEGER
51	tlg70sbSelScrn	R/W	4	画面番号の選択 項番 54～56 の設定用 0～31=画面番号 1～32	画面番号 10 9	INTEGER
52	tlg70sbSelPlane	R/W	4	プレーンの選択 項番 57～70 の設定用 0=タイム 1=デイト 2=ロゴ	デイト 1	INTEGER
53	tlg70sbSelNo	R/W	30	プリセット、イメージ番号の選択 項番 57～70 の設定用 0～15=1～16	番号 5 4	INTEGER
54	tlg70sbDisp	R/W	4	表示 ON/OFF 0=OFF 1=ON	ON 1	INTEGER

項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バイト数	内容	実装例	SYNTAX
55	tlg70sbPosH	R/W	4	表示位置 0～1919=0～1919	H:100 100	INTEGER
56	tlg70sbPosV	R/W	4	表示位置 0～1079=0～1079	V:400 400	INTEGER
57	tlg70sbFontType	R/W	4	書体 0～3	角ゴシ 1	INTEGER
58	tlg70sbFontSize	R/W	4	フォントサイズ 10～100 級	50 級 50	INTEGER
59	tlg70sbTyou	R/W	4	長体率 0～50%	長体なし 0	INTEGER
60	tlg70sbSlant	R/W	4	斜体率 0～30%	斜体なし 0	INTEGER
61	tlg70sbSpace	R/W	4	文字間隔 -50～50 ドット	文字間隔 10 ドット 10	INTEGER
62	tlg70sbDellmt	R/W	4	区切り間隔 -50～50 ドット	区切り間隔 10 10	INTEGER
63	tlg70sbFontColor	R/W	4	文字色 bit0～7: 彩度 0～110 bit8～15: 輝度 0～100 bit16～31: 色相 0～359	色相 120 輝度 60 彩度 20 0x00783c14	INTEGER
64	tlg70sbEdgeType	R/W	4	エッジ種類 0=HARD 1=SOFT	HARD 0	INTEGER
65	tlg70sbEdgeWidth	R/W	4	エッジ幅 0～10	幅 4 4	INTEGER
66	tlg70sbEdgeColor	R/W	4	エッジ色 bit0～7: 彩度 0～110 bit8～15: 輝度 0～100 bit16～31: 色相 0～359	色相 120 輝度 60 彩度 20 0x00783c14	INTEGER
67	tlg70sbEfct	R/W	4	エフェクト 0=CUT 1=FADE 2=HROTATE 3=VROTATE	HROTATE 3	INTEGER
68	tlg70sb24h	R/W	4	12/24H 選択 0=12H(0) 1=24H 2=12H(12)	V:400 400	INTEGER
69	tlg70sbForm	R/W	4	タイム表示フォーム 0=hh:MM:SS” 1=hh:MM 2=hh:MM.SS 3=hh.MM.SS 4=hh.MM 5=hh MM SS 6=hh MM 7=hh 時 MM 分 SS 秒 8=hh 時 MM 分 9=hh 時 mm 分 デイト表示フォーム 0=YYYY 年 mm 月 dd 日 1=mm 月 dd 日(WWW) 2=mm 月 dd 日(WW) 3=YYYY 年 mm 月 dd 日(WWW) 4=YYYY 年 mm 月 dd 日(WW) 5=mm 月 dd 日 6=mm.dd 7=yyyy.mm.dd 8=yyyy.mm.dd(WWW) 9=YY.mm.dd 10=YY.mm.dd(WWW) 11=dd(WWW) 11=dd(WW)	hh:MM 1	INTEGER
70	tlg70sbKey	R/W	4	キーレベル 0～100% 0 で透明	レベル 50 50	INTEGER

項番 51 で項番 54～56 のデータ、項番 52～53 で項番 57～70 のデータを読み書きします。

15. GENLOCK PHASE

REF 信号を基準に AVDL Window 枠を移動します。LINE IN の SDI 信号が AVDL Window 枠内の位相にあれば、REF 信号(LINE DIRECT は LINE IN 信号)から LINE OUT は約 $4\mu\text{s}$ 遅延して出力します。もし、入力の SDI 信号の位相が AVDL Window 枠外(NG Area)にある場合はメニュー-CONFIG【CONF】PHASE【PHAS】の H PHASE【 H 】と V PHASE【 V 】で LINE IN の SDI 信号が AVDL Window 枠内へ収まるように調整してください。この時、出力の位相も合わせて変化することを考慮してください。



また AVDL Window 枠外(NG Area)にある場合は出力映像に垂直方向の揺すれやズレ、局間制御信号等の補助データパケットが所定の位置からズレることがあります。

※注外観及び仕様は変更することがあります。

御使用者各位

ビデオトロン株式会社

製造技術部

緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社

製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。